

平成29年度 事業報告

社会福祉法人
県西福社会

平成29年度 事業報告（前文）

平成29年度を振り返って

平成29年度は、改正社会福祉法の初年度として、新たに執行機関となった「理事会」、そして、議決機関となった「評議員会」を車の両輪とする新体制のもとで、

- ・事業運営の透明性の確保
- ・経営体制のガバナンスの強化
- ・財務基盤の強化

に留意しながら、法人と施設の運営に取り組んでまいりました。

私共の基本的使命である障害者支援の充実を全てに優先するテーマとの認識のもとで、

- ・地域に生活する障害者の受け入れ促進
- ・就労継続支援B型事業における工賃の向上
- ・唯一の自主事業である「ふくらん」の実績確保

等、各般にわたって、前年度を上回る目標を掲げ、総体としてその達成を確認する1年となりました。

加えて、平成29年度は開設から16年が経過するなかで、施設再整備3ヶ年計画の2年次として、「外壁塗装、屋根等防水」の大型工事に着手し、完了させることができました。

今後も、地域の中心的な拠点施設としての使命、役割を自覚しながら、堅実な歩みを進めてまいります。

社会福祉法人県西福祉会
理事長 松本信輔

◆◇◆ 目 次 ◇◇◆

経営方針

足柄療護園・県西福祉センター・プレアデスの概要	... 1
1. 理事会・評議員会	... 2
2. 主要行事	... 3
3. 組織体制	... 4
4. 職員状況	... 5~7
5. 足柄療護園の状況	... 8~12
6. 県西福祉センターの状況	... 13~14
7. プレアデスの状況	... 15~17
8. プレアデスホームの状況	... 17
9. ふくらんの販売状況	... 18
10. ボランティア活動の状況	... 19
11. 健康管理の状況	... 20
12. 給食の状況	... 21
13. 権利擁護の状況	... 22
14. 安全管理の状況	... 23
15. コミュニティ(地域交流)の状況	... 24
16. 広報の状況	... 24
17. 渉外関係(家族会・実習生/研修生等)他	... 25
18. 施設再整備計画の推進状況	... 26
平成29年度 部門別重点実施事項実施報告	... 27~28

★経営方針

《 使命 》 職員的情熱と地域社会の支持によって
利用者安心の施設を目指します

《 基本理念 》

私達は、自らの使命を認識しながら、そこに辿り着くため、施設運営に当たっては、その基本理念を**自主・参加・安心**と定めます。私達の施設は、集団生活を避けることはできませんが、集団生活の故に発生しがちな「管理」、「画一」、「指示」、「規制」を極力、排し、利用者個々人の「自主性、主体性」を尊重し、当事者としての「参加」と「決定」を大切にしながら、家族ともども「安心感」のもてる生活の場を築きます。

自主・参加・安心

《 長期目標 》

利用者満足の実現

福祉プロ集団への進化

地域福祉の活性化

★足柄療護園・県西福祉センター・プレアデスの概要

平成30年4月1日現在

足柄療護園 (障害者支援施設)	県西福祉センター (障害者通所施設)	プレアデス (障害者通所施設)	プレアデスホーム (障害者グループホーム)
施設入所支援 60名	生活介護 30名	生活介護 15名	共同生活援助 36名
生活介護 60名	機能訓練 12名	就労B型 30名	
短期入所 6名	就労B型 15名	日中一時 15名	
	相談支援	相談支援	

◆ 沿革 ◆

平成11年 8月	社会福祉法人県西福祉会 法人認可
平成13年 4月	身体障害者療護施設足柄療護園 開設 身体障害者デイサービス県西福祉会センター 開設
平成18年10月	生活介護事業・相談支援事業 開始
平成19年 4月	自立訓練(機能訓練)事業 開始
平成20年 4月	障害者支援施設(生活介護)へ事業移行
平成20年 7月	就労継続支援B型事業 開始
平成22年 4月	プレアデス(生活介護・就労B・共同生活援助)事業開始 プレアデス日中一時事業(小田原市・南足柄市)事業開始
平成24年 4月	県西福祉センター生活介護棟開設 / プレアデス福泉事業所開設
平成24年 7月	プレアデスホーム いずみホーム開設
平成25年 4月	プレアデス福泉 製造棟開設
平成25年 7月	プレアデス福泉 「ふくらん」開設
平成26年 4月	プレアデスホーム やまさきホーム「シリウス」「リゲル」開設
平成27年 3月	プレアデスホーム やまさきホーム「カペラ」「スピカ」開設

1. 理事会・評議員会

(1) 理事会

第1回	5月26日 理事5名 監事2名	第1号議案 次期理事・監事の候補者(案)について 第2号議案 平成29年度 第1回評議員会の開催(案)について 第3号議案 平成28年度 事業報告(案)について 第4号議案 平成28年度 決算報告(案)について 第5号議案 諸規程の改正(案)について 第6号議案 平成29年度 基盤整備小委員会の設置(案)について 第7号議案 空調設備更新(案)について
第2回	6月9日 理事5/監事2	第1号議案 理事長の選定(案)について
第3回	8月29日 理事5/監事2	第1号議案 足柄療護園 外壁塗装・屋根防水工事(案)について 第2号議案 契約電力会社の切り替え(案)について
第4回	10月20日 理事6名 監事2名	第1号議案 平成29年度 資金収支補正予算(案)について 第2号議案 平成29年度 事業中間報告(案)について 第3号議案 平成29年度 資金収支中間報告(案)について 第4号議案 諸規程の改正(案)について 第5号議案 平成29年度 第2回評議員会の開催(案)について
第5回	3月16日 理事6名 監事2名	第1号議案 平成29年度 資金収支2次補正予算(案)について 第2号議案 平成30年度 事業計画(案)について 第3号議案 平成30年度 資金収支予算(案)について 第4号議案 平成29年度 第3回評議員会の開催(案)について 第5号議案 施設再整備3ヶ年計画最終年次の取組(案)について 第6号議案 足柄療護園 空調設備等の更新(案)について 第7号議案 平成30年度 基盤整備小委員会の設置(案)について 第8号議案 諸規程の改正(案)について

(2) 評議員会

第1回	6月9日 評議員7名 監事2名	第1号議案 次期理事・監事の候補者(案)について 第2号議案 平成28年度 事業報告(案)について 第3号議案 平成28年度 決算報告(案)について 第4号議案 役員等報酬規程(案)について
第2回	10月27日 評議員7名 監事2名	説明事項1 平成29年度 資金収支補正予算について 説明事項2 平成29年度 事業中間報告について 説明事項3 平成29年度 資金収支中間報告について
第3回	3月18日 評議員8名 監事2名	説明事項1 平成29年度 資金収支2次補正予算について 説明事項2 平成30年度 事業計画について 説明事項3 平成30年度 資金収支予算について

(3) 基盤整備小委員会 (生沼理事・柴田理事・守屋理事・小澤評議員)

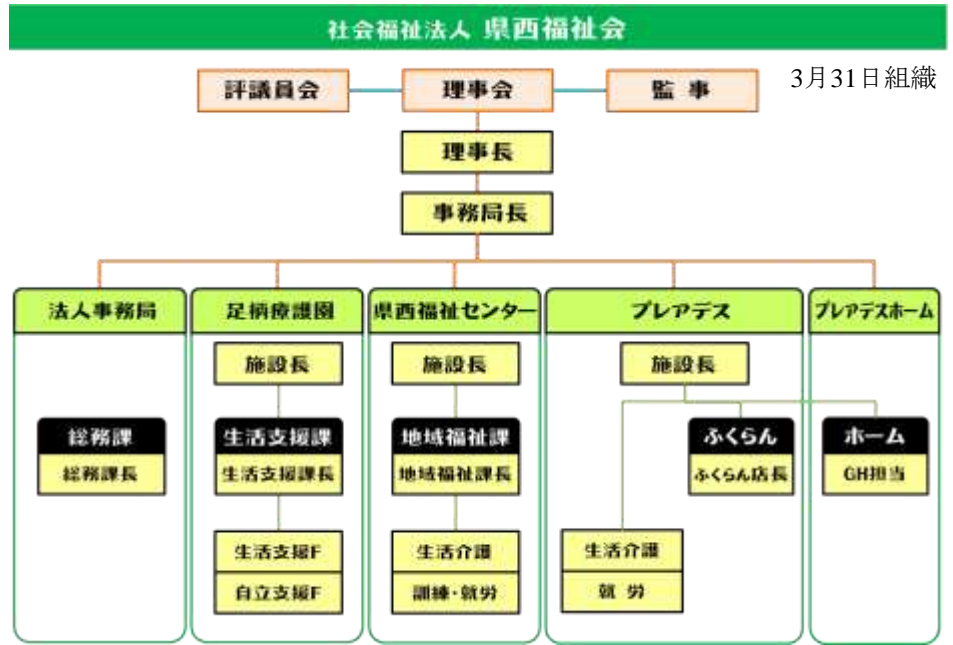
第1回	8月4日	委員長選出 / 足柄療護園空調設備更新工事入札
第2回	9月25日	足柄療護園外壁塗装・屋根防水工事等入札
第3回	3月30日	足柄療護園外壁塗装・屋根防水工事完了の確認

2. 主要行事

月	施設行事	法人・職員	地域・家族 他
4	施設外活動(花見)【足】【プ】 スポーツ大会【足】 避難訓練【プ】【ホ】	避難訓練【プ】	下田組主催花見【ホ】
5	健康診断【足・ホ】/歯科検診【足】 施設外活動(沼津深海水族館)【足】 チャレンジ遠足【プ】 健康診断【ホ】	健康診断 監事監査 理事会	家族会総会【足】 ボランティア食事も【足】 南足柄市民生児童委員見学【27】
6	プレアデス祭 避難訓練【足&セ】 カラオケ大会【足&セ】	評議員会 プレアデス祭 職員会議 避難訓練【足&セ】	プレアデス祭 みんなのつどい【プ】 大井高校 利用者講演 南足柄市社協ボラ講座【20】
7	スポーツ大会【足】/カラオケ外出【プ】 卓上ゲーム大会【足&セ】 施設外活動(沼津深海水族館)【足】 七夕行事【足】【セ】【プ】 アニソンコンサート【足・ホ】	「ふくらん」4周年	各自治会夏祭り出店【ふ】 小田原養護学校夏祭【プ】 小田原短大 利用者講演 高浜高校 利用者講演
8	家族交流BBQ【プ】 下田組合同BBQ【プ】 流しそうめん【足&セ・プ】 施設外活動(映画)【足】 カラオケ大会【足&セ】	理事会 基盤整備小委員会	各自治会夏祭り出店【ふ】 家族交流BBQ【プ】 下田組主催BBQ【ホ】
9	避難訓練【足&セ】 施設外活動(ヤクルト見学)【足】 県ローリングハイレ大会【足&セ】 納涼会【足】/スポーツ大会【セ】 一泊旅行(TDS)【プ】	基盤整備小委員会 職員会議 避難訓練【足&セ】	厚木市地区民児協見学【16】
10	秋まつり/作品コンテスト 健康診断【足】/スポーツ大会【足】 施設外活動(マス釣り)【足】 チャレンジ遠足【プ】/不在者投票【足】 利用者研修会【プ】/避難訓練【プ】	理事会・評議員会 秋まつり 避難訓練【プ】 外壁塗装・エアコン更新工 事	秋まつり<家族会共催> 大井高校 実習受入 小田原短大 利用者講演 高校PTA連合会利用者講演 厚木市地区民児協見学【16】
11	インフルエンザ予防接種【足・ホ】 県文化ステージ発表【足&セ】 施設外活動(紅葉)【足】【プ】 カラオケ大会【足&セ】/避難訓練【ホ】 焼き芋会【足・セ】/パターゴルフ大会【プ】 カーレット大会出場【足】	ふれあいセミナー 評価面接 ディズニー新人研修 職員健康診断(夜勤者) 施設見学「小田原養護学校」	ふれあいセミナー 大井高校 実習受入 高浜高校 利用者講演 北里大学 利用者講演 山北町清水美德地区民児協【7】 南足柄小学校2年生買物体験
12	おもちつき【プ】 卓上ゲーム大会【足&セ】 クリスマス会【足】【セ】【プ】【ホ】 年末年始外出【ホ】 県卓上競技大会【足&セ】	職員会議 避難訓練【足&セ】	家族会・施設清掃(家族会) GH家族交流会【プ】 日本女子大学 利用者講演 西湘地区文化事業【プ】
1	成人を祝う会【プ】/新春運動会【プ】 書初め【セ】		中央医療健康大学校見学【40】
2	節分行事【足】【セ】/スポーツ大会【足】 バレンタインイベント【足】 施設外活動(カラオケ)【足】 伊東一泊旅行【ホ】		茅ヶ崎リハ専門学校利用者講演 厚木マルベリーライオンズクラブ利 用者講演 ちいきふくし博【足&セ&プ】
3	自分発表会【プ】/避難訓練【足】 カラオケ大会【足&セ】 県ローリングハイレ大会ぱっする杯【セ】 施設外活動(映画)【足】 文化作品展示会【足】	理事会・評議員会基 盤整備小委員会 職員会議 / 避難訓練 権利擁護研修 避難訓練【足】	県西地区送迎避難訓練【プ】 足柄高校利用者講演 家族会役員選出【足】

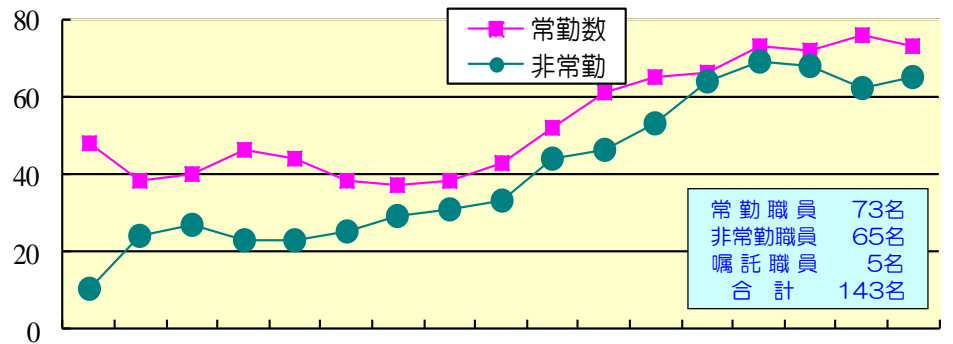
3. 組織体制

(1) 組織体制



(2) 職員数

年度末現在の職員総数は前年から2名減り143名である。常勤職員の退職者が12名と多く、非常勤職員の退職者は10名で例年に比べ少なかった。



職員数の推移(3月31日現在の職員数)

(3) 職員配置

3月31日現在の各事業の配置職員は、指定基準を満たしている。

職種	足柄療護園		県西福祉センター		プレアデス		プレアデスホーム	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1名		1名		1名		1名	
サビ管	2名		1名		1名		2名(兼務)	
医師		5名		1名(兼務)		1名(兼務)		
看護師	2名	11名	1名(兼務)		1名(兼務)			
生活支援員	29名	7名	12名	2名	20名(兼務)	10名	12名(兼務)	
指導員				2名		2名		
訓練担当	1名(兼務)	2名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)	1名(兼務)			
世話人							11名(兼務)	14名
その他	4名	8名		3名				

3月31日現在

4. 職員状況

(1) 労働条件の改定等

7月に初任給基準の見直しを行い、合わせて夜勤手当、宿直手当の増額を行った。10月の最低賃金改定にかかわる対応を行った。平成30年4月の無期転換ルール開始に伴い非常勤職員就業規則を改正するとともに、非常勤の定年年齢を66歳と70歳の2段階とした。

(2) 職員研修

計画に基づき、階層別に施設内研修を実施した。今年度は中堅職員を対象にディズニーランドにおいて、サービスのあり方研修(参加4名)を実施した。5月と7月の2回にわたりリーダー研修(役職者12名)を実施し、同メンバーに対し14時間の感染症対策研修を実施した。

①施設内研修実施状況

職員研修	テーマ	講師	対象者	参加者
4月28日	障害者とともに生きる	利用者2名	新人	21
5月18日	オムツのあて方	日本製紙クレシア	中堅	23
6月22日	防災	奥津管理員	全体	32
7月6日	社会人としてのマナー	スターコンサルタントG 近藤摩耶氏	中堅	40
9月20日	感染症	感染症マスター職員	全体	54
12月21日	救命救急	小田原消防	全体	21
1月31日	褥痕予防ケア※	足柄上病院 高橋佳織氏	新人	25
3月29日	権利擁護 / 障害者虐待	毎日新聞社 野澤和弘氏	全体	43

②スキルアップ研修実施状況(業務時間扱い・自由参加型)

日程	テーマ	講師	参加者
7月20日	腰痛予防	大野誠理学療法士	34
10月18日	自閉症※	ワゲン福祉会 吉澤宏次氏	36
11月30日	盲聾体験	猪川尚子言語聴覚士	23
2月16日	コミュニケーション体験	猪川尚子言語聴覚士	21

③施設外自己啓発(SDS)

日程	テーマ	場所	参加者
9月29日	国際福祉機器展見学	東京ビックサイト	8
11月20日	神奈川県立小田原養護学校 見学	[養護学校]	12

④人財育成塾実施状況 参加者は指名

テーマ	対象者	日程	時間	講師
ディズニーリゾート研修(支援力向上研修) 9月14日、11月7日～8日(TDS)、2月21日	中堅職員 4名	4日間	21.5時間	スターコンサルティンググループ 糠谷和弘氏
リーダーシップ研修 5/11、7/6	役職者 12名	2日間	10.5時間	〃
感染症スペシャリスト養成研修 6/18、8/6、9/24、11/5		4日間	14時間	感染症.com



ディズニー研修:他法人にも呼び掛けし、全国から福祉施設職員30名が集まり合同で研修を実施した。

⑤施設外研修受講状況（30企画延べ55名参加）

内 容	参加者	主 催
相談支援従事者現任研修	石川宗伸・増田加寿美・山口勇人・金子祐樹	神奈川県
強度行動障害支援者 養成研修【基礎研修】	石川宗伸・行待巧・山口勇人・増田加寿美・三川由美子・川西貴久	神奈川県
強度行動障害支援者 養成研修【実践研修】	石川宗伸・行待巧	神奈川県
痰の吸引等医療的ケア育成伝達講習	杉山信弘	フュージョンコムかながわ
社会福祉法人経営労務管理体制強化研修	柴田和生	神奈川県
神奈川県農福連携セミナー・相談会	柴田和生・小林靖明	神奈川県
障害福祉施設等危機管理講習会	山岸直広	神奈川県
人財化セミナー2018(新人研修)	寺山啓太・秋山智弘・村田美里・鈴木真琴	SYワークス

※その他、経営協、神奈川県社協、身障協、身療協等の研修へ参加

(3) 会議・委員会

年間日程に基づき計画的に会議を開催した。

各委員会の活動を通じ、**リーダーシップの発揮**をはじめとした、職員的能力開発と**組織運営への参加**をはかった。

名 称	内 容	開催数	メンバー
職員会議	施設運営及び職員に係る事項について提起し、職員間の意思疎通をはかる	4回	全職員
運営会議	施設運営及び職員に係る事項について検討し、組織の一体化を推進する	12回	理事長、事務局長、部長、施設長、課長、店長、医務課リーダー
わくわく委員会 (日中活動)	クラブ活動や外出支援等、日中活動の企画・検討を行い、充実した日中活動を目指す	6回	◎柘植、阿部、月村、持丸、藤田、露木(翼)、古屋、神羽、生田目
いきいき委員会 (生活向上)	利用者自らが自立した生活を実現するための能力を身に付けていく視点で検討する	6回	◎奈良場、竹内、府川、金子、菅沼、保科、猪川
さくさく委員会 (業務改善)	業務の効率化を実現し、職員の負担を軽減し、より充実した利用者支援につなげる	7回	◎宮崎、府川、露木(奈)、迫田、岸、丹羽
リスクマネジメント 委員会	利用者が生活を送る上での安全安心確保と介護事故の防止をはかる。権利擁護の推進をはかる。	6回	◎白田、佐々木、石川、山口、良知、増田、阿部(達)、丹羽、(山岸、平田)
ボランティア 委員会	ボランティア受入及び教育、対応にかかわることについて検討する	12回	◎月村、阿部(礼)、山岸(里)、岸、神羽、K宮内、P早野、土屋
研修委員会	職員の研修にかかわること、研修会の企画・開催について検討する	6回	◎鈴木(匠)、増田、宮崎、森本、保科、猪川、K太田、P古沢、大熊
衛生委員会	労働災害及び疾病の防止対策を行い、快適な作業環境の実現を促進する	12回	◎藤田、山岸、野村Dr.、竹内、柘植、菅沼、森本、七海、根本、田中
広報委員会	広報誌『やまぶき』の編集・発行を行う。広報にかかわることについて検討する	4回	◎後藤、五味、鈴木(匠)、白田、P樽澤、土屋
短期入所受入 検討会議	短期入所利用者情報の共有と受入にかかわる業務等の調整を行う	12回	◎増田、山岸、石川、山口、奥津、根本、(佐々木)
食のあり方 検討委員会	ソフト食の提供にかかわる課題の整理や食事観察の必要な方の支援の仕組みづくりを行う	6回	◎猪川、石川、山口、K生田目、P樽澤、(平田、山岸、佐々木、NS)(日清)

(4) 外部への活動報告

☆かながわ福祉サービス大賞 優秀賞受賞☆

福祉事業者が取り組む先進的な事例を広くアピールすることを目的に開催している大会で、ふくらんと小田原短期大学とで取り組んだ、「たまごスイーツコンテスト」を中心に、学校との連携を発表した!!



(5) 委員会活動報告

委員会名	委員長	年度実施報告
わくわく (日中活動) 委員会		9月に「納涼祭」を開催し、昼の部でたこ焼き、夜の部で花火を実施した。3月には「桜餅」を利用者自らが焼いて食べる企画を開催するなど、季節を感じるイベントを中心に年8回開催した。 施設外活動のマニュアルを作成し、当日の対応を統一化した。外出先はプラネタリウムや平塚総合公園など新たな場所についての検証をおこなった。
いきいき (生活向上) 委員会		ぶらりランチを新たに利用する方は2名増加し、平成29年度は7回実施し延べ13名が利用した。ぶらりランチの行先が一箇所なので、新たな行先の検討のため聞き取りを行ったが、和食(寿司)希望が多く当面現行の「はま寿司」で実施していくこととした。家族等との急な外出に備え、職員が助言できるように「外部事業所一覧表」の作成を進めている。
さくさく (業務改善) 委員会		個別支援評価の記載内容について、整理・簡略化を行った結果、5時間以上掛かっていた記載が、1時間程度で作成可能となった。 新人のOJTにかかわり、コーチャーチェックシートを作成し、計画的にトレーニングが行えるように変更を行った。オムツ類の利用状況の分析を継続することで、無駄な支出を抑制する効果が得られている。
リスク マネジメント 委員会		会議の開催を通じ、リスクマネジメント報告、ヒヤットと共有書の内容共有と対策の検討を行い、介護事故への意識向上につとめた。 身体拘束及び行動制限に関する事項の検討、及び解除に向けた取り組みを継続的に実施しているものの、23名29項目の実施である。 その他、12月には全職員に対し人権チェックアンケートを実施した。
ボランティア 委員会		ボランティア活動数、延べ1500名を目指しが、1354名の実績であった。 近隣の高校・大学・専門学校などに募集のため各学校に対して電話連絡及びポスターの発送を行い、熱海高校エイサー部などの来園につながった。 プレアデスでは目標300に対し205名であった。 5月に親睦を兼ねた食事会を立食形式で開催し44名が参加した。
研修委員会		年間の研修計画に基づき、研修内容の検討や講師依頼、事前準備を行った。 昨年度行なったアンケート結果をもとに、研修内容を検討し新企画として職員参加型・体験型の研修(盲ろう体験など)を2企画実施をした。 研修レポートの様式を改訂し、次回の研修講師の紹介等を行うようにした。 11月にふれあいセミナーを実施した。
衛生委員会		施設内を定期巡回し、改善が必要な場合は修理依頼書を提出した。 感染症予防月間(11月～2月)の間、マスク着用の義務化、手洗いうがいの徹底のため、各セクションにポスターを掲示した。 毎月各部署から改善案を聞き取り、会議を通じ必要な物品が発生する場合には購入するなど職場環境の改善につとめた
広報委員会		『やまぶき』を季節ごと年4回発行し、利用者・ご家族、関係機関等へ約650部を印刷し配布した。 各部署に協力を仰ぎ記事内容の充実をはかった。 写真販売では、例年と変わらず多くの購入希望者があり、通所では前年を越える枚数となった。

(6) 労働衛生

5月31日に職員121名に対し健康診断を実施し、所見のある職員(28名)に対し、医師による個別指導を行った。夜勤従事者は11月に嘱託医師による健康診断を実施した。また、健康保険加入職員59名に対して**ストレスチェック**を実施した。衛生委員会において、施設内の巡回チェックシートにより職員労働環境の定期確認を実施した。

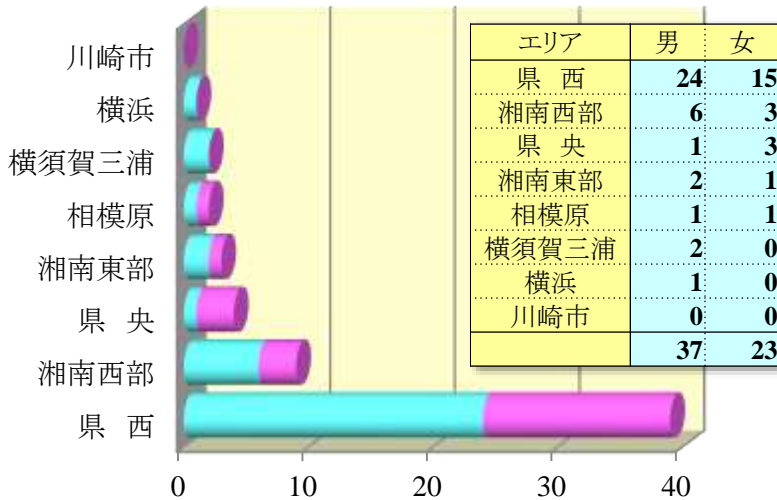
5. 足柄療護園の状況

(1) 施設入所支援

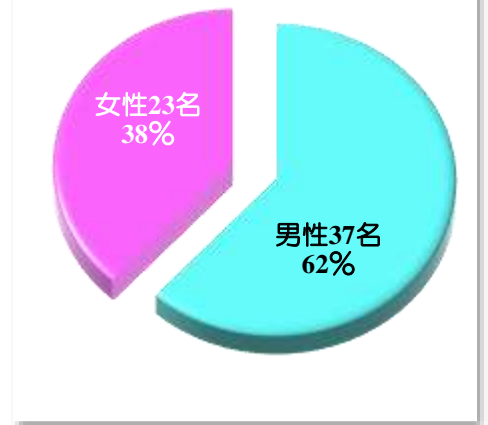
満床でスタートし、医療的な対応が増加され入所の継続が困難となった2名の方と、急変で病院搬送され亡くなられた方1名の計3名が退所された。3名が入所され年度末では満床となっている。

① 利用者の状況 (年度末現在;入所者数60名)

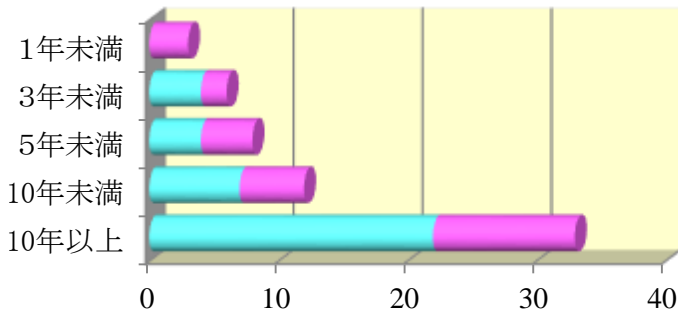
A.地域別入所者数: 県西地区が39名(67%)を占める。



男性が37名(62%)。
女性が増加傾向である。

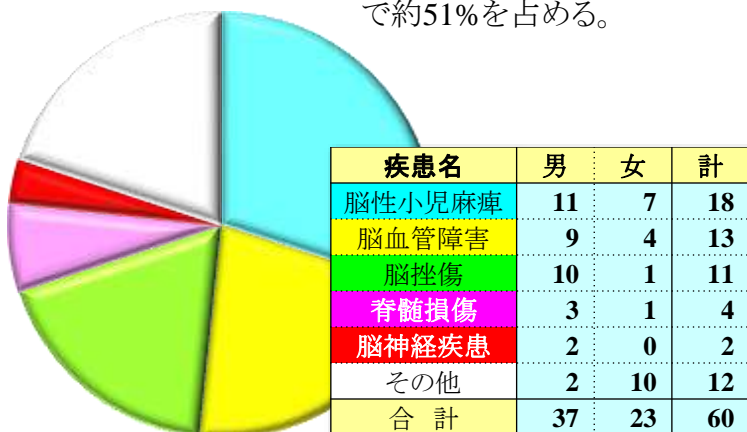


B.在所期間: 10年を超えた方は33名で55%。

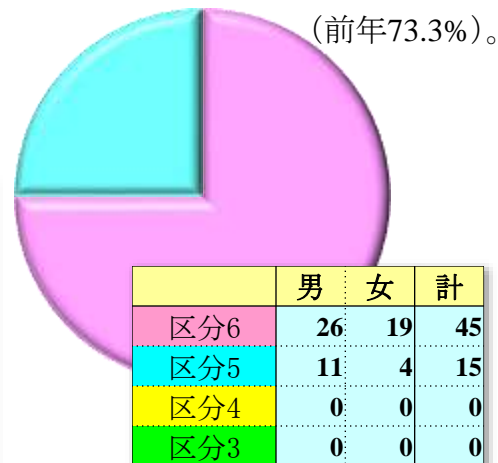


	男	女	計
1年未満	0	3	3
3年未満	4	2	6
5年未満	4	4	6
10年未満	7	5	12
10年以上	22	11	33

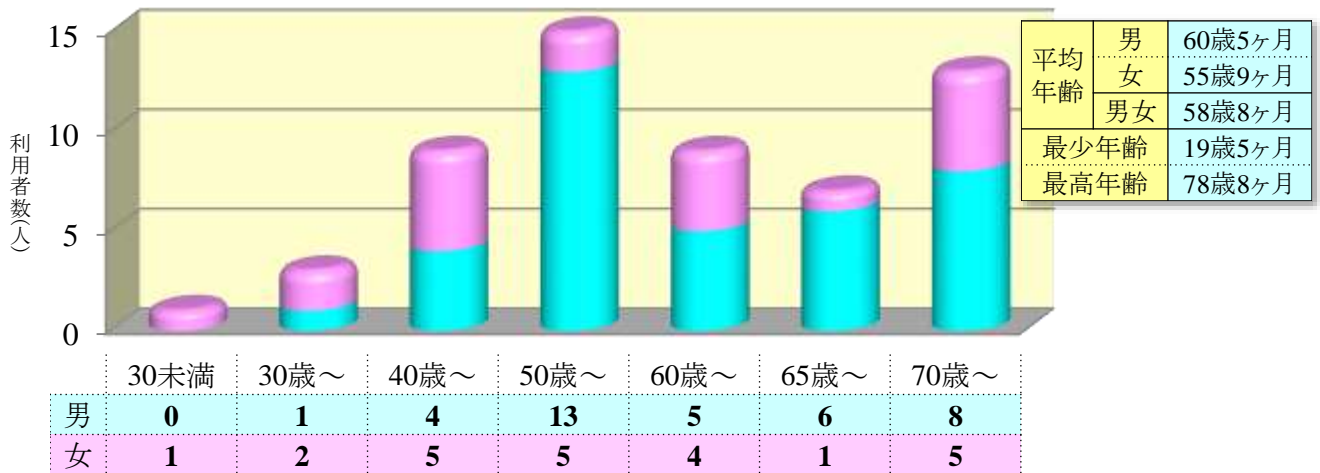
C.疾患別原因: 脳性マヒ・脳血管障害の方で約51%を占める。



D.障害支援区分: 区分6 が75.0% (前年73.3%)。



E.年齢別：平均年齢は58歳。70歳以上が13名となり高齢化が進んでいる。

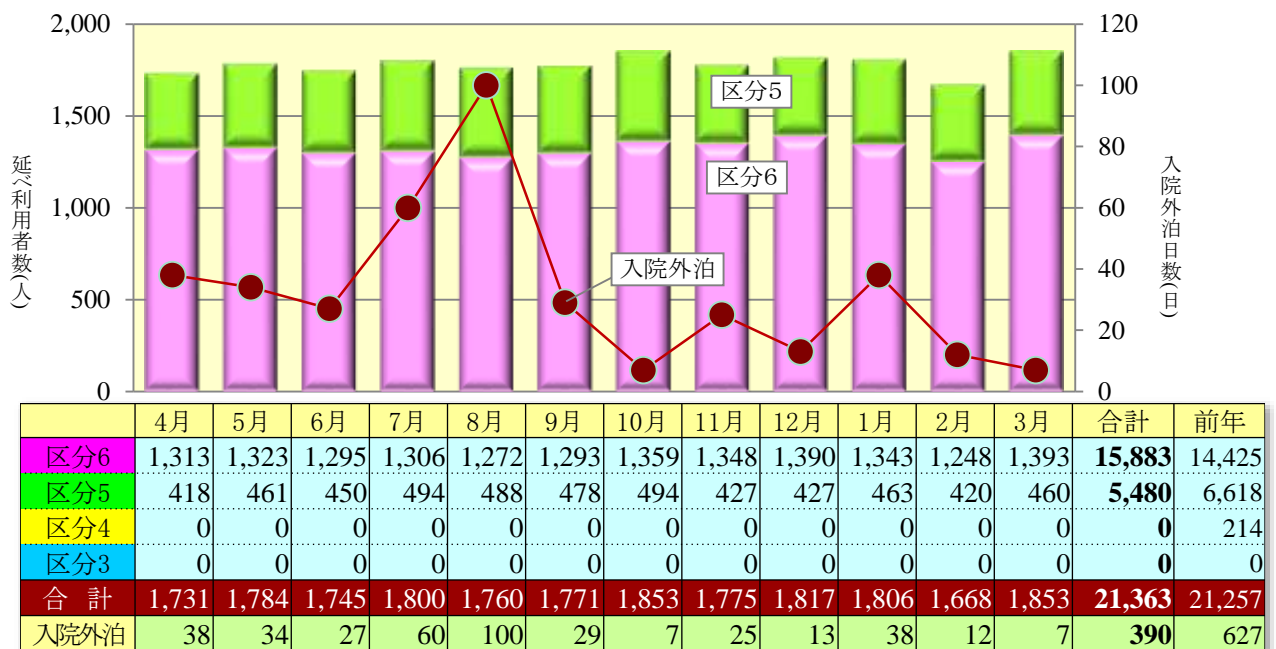


②個別支援

グループ長を中心にフロアリーダー・サブリーダーがフォロー役となって、支援計画の進行を行った。支援方法の検討や日々の対応について、臨床心理士や看護師・主治医との連携を行い、専門職などの助言を頂きながら対応を行った。家族との連携を行いながら、外出などの支援を行うなど、日々の生活に変化をもたらすように対応を行った。

③利用状況

入院者数としては例年5～600名程度であるが、精神疾患等による長期にわたる入院が少なく、早期対応により入院期間も短い例が多く、349名と少なかった。ミドルステイ利用者を積極的に誘致しないようにしていることから、入所利用者の不在時の利用開始までにある程度の期間が必要となった。



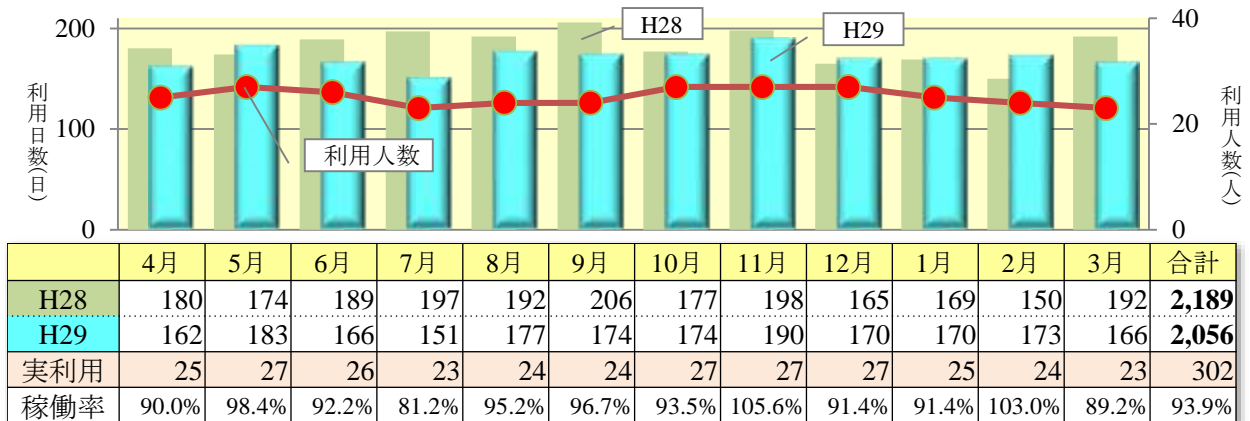
(2) 短期入所の状況 定員6名

短期入所利用の希望が高く、入所者の空床も利用し、登録者**53名**(前年63名)に対し、実利用41名(前年45名)年間**延べ2056日**(前年2189日)のサービス提供を行い、**平均ベッド稼働率は93.9%**(前年99.9%)であった。

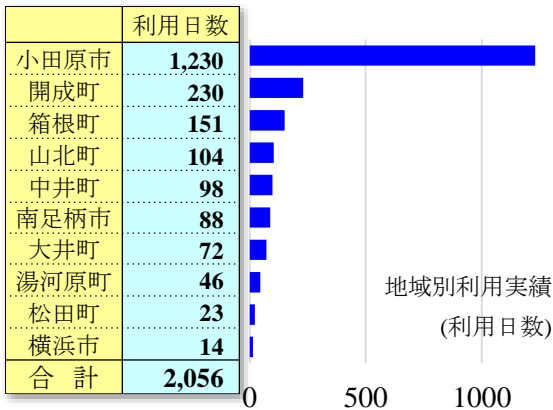
12月～3月は体調崩す方が多く、予約日直前にキャンセルとなるケースが多くあった。毎月「短期入所受け入れ検討会議」を開催し、利用者の情報共有を行なっている。

①利用者の状況(3.31現在)

A. 利用実績: ベッド稼働率は93.9% (前年99.9%) で、延べ利用日数は2056日であった。

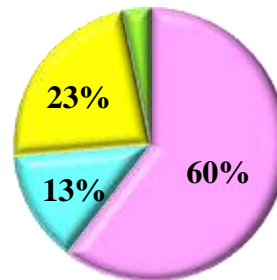


B. 域別利用状況: 小田原市が約6割を占める。



C. 障害支援区分別

区分5と6で約73%を占める
平均障害支援区分は5.30
(前年5.11)



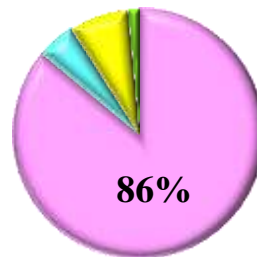
区分	日数
区分6	1243
区分5	271
区分4	474
区分3	68
区分2	0

障害支援区分(利用日数)

②地域拠点事業所配置事業の状況

地域拠点事業所配置事業「あんしんネット」の県からの受託は8年目となり、**29名**(前年27名)の登録、実利用**10名**の方に対し**延べ162名663日**(前年169名608日)のサービス提供を行った。利用者はより重度化しており区分6の方の利用が86%を占める。

支援が困難なケースや緊急時の受入れ対応ができるよう各機関と連携をはかるとともに、各スタッフとの連携もスムーズに行えた。



区分	日数
区分6	579
区分5	33
区分4	51
区分3	10
区分2	0

障害支援区分(利用日数)
※上記内数

(3) 活動支援の状況

① クラブ活動

11のクラブ活動等で、192回(前年211回)、延べ3,255名(前年3,361名)の参加数となった。地域の「いずみ地域福祉会」に支えられており、年間延べ409名のボランティア数となっている。

カラオケ大会や卓上大会、スポーツ大会、作品コンテストの開催を通じ、通所利用者と入所者との交流を深める機会を作るとともに、日常の活動への意欲的な参加につなげた。

クラブ名	回数	参加	平均
スポーツクラブ	16	443	27.7
カーレット	6	146	24.3
ローリングバレー	12	283	23.6
創作クラブ	12	276	23.0
華道クラブ	6	134	22.3
卓上クラブ	19	423	22.3
音楽クラブ	4	88	22.0
カラオケクラブ	54	920	17.0
陶芸クラブ	12	61	5.1
ネイルアート	11	104	9.5
パソコン	40	377	9.4
合計	192	3,255	17.0

クラブ活動実績

カラオケ大会	
6月28日	参加11名/観客25名
8月31日	参加11名/観客33名
11月15日	参加12名/観客25名
3月15日	参加10名/観客25名
卓上ゲーム大会	
7月20日	参加20名
12月27日	参加20名
スポーツ大会	
4月27日	ボーリング 参加27名
7月26日	プロ卓球 参加37名
10月26日	運動会 参加45名
2月15日	カーレット 参加33名
作品コンテスト	
10月11日	66名173作品
～15日	281名の投票により選考

各大会実績



② イベント・余暇活動 (アクティビティ)

法人全体で取り組む「秋まつり」は、10月第3日曜日に開催し、雨天荒天にもかかわらず600名を超える人々で賑わい、地域との交流を深める機会となった。

月	イベント	参加数
7月	七夕会ハワイアン [アイス]	58
8月	流しそうめん	50
8月	かき氷	48
9月	エイサー演武 (納涼会昼の部)	48
9月	納涼会(夜の部)	52
9月	そば打ち	29
11月	焼き芋会	65
11月	パンケーキ	55
12月	クリスマス会 (ハワイアン)	49
2月	節分会	42
2月	バレンタインイベント	48
3月	桜もち	47

季節のイベントは、わくわく委員会を中心に食のあり方検討会も協力し企画し、12企画を開催し、参加者は683名であった。

今年度はボランティアさんの指導のもと、パステルアート、ハーバリウム、グルーデコの創作的な活動(17回225名参加)もスタートし、日中活動担当による、ビーズなどのアクティビティ(8回36名参加)を含め充実した日中活動を実現した。



流しそうめん



パステルアート

③ 買物外出・施設外活動

長時間の買物外出の実施や施設外活動を実施した。基本的に
 一対一の支援が必要であるが、南足柄市社協ボランティアやご家族、
 延べ15名の協力を得ながら実施した。小グループに分かれて
 の外出で年間47ルート(前年42)で118名(前年113名)の方が出
 かけた。南足柄市でのど自慢大会が開催され予選に2名が参加した。



新江ノ島水族館

外出先	回数	人数
すたみな太郎〔ランチ〕	6	12
カラオケボックス	2	8
沼津深海水族館	2	7
映画鑑賞	3	6
ピックボーイ〔ランチ〕	3	6
ステーキガスト〔ランチ〕	2	5
マス釣り〔寄木〕	1	5
映画鑑賞	2	5
プレアデス祭	1	3

外出先	回数	人数
ヤクルト工場見学	1	2
お花見	2	6
紅葉見学	1	3

買物外出	
シティーモール	13回/32名
イトーヨーカ堂	4回/9名
ららぽーと平塚	4回/11名
西武	2回/4名



NHKのど自慢大会予選出場

④ 施設外大会・発表会への参加

例年通り、神奈川県身体障害者施設協議会主催の県大会等に参加した。

9月23日	第27回 神奈川県ローリングバレーボール大会	入所 6名 通所 11名	入所:Bブロック3位 通所:Bブロック優勝
11月18日	第23回 身障施設 文化ステージ発表会	入所 6名 通所 0名	タイトル「波と風の饗宴」 沖縄音楽の歌と演奏
3月5日	第22回 身障施設 利用者作品展示会	----	40作品
2月2日	第50回 身障施設対抗卓上競技大会	入所 4名 通所 4名	受賞者なし
3月11日	第18回 ローリングバレーボール大会[ぱっする杯]	通所 13名	受賞なし

⑤ “ぶらり外出” “ぶらりランチ”

人気の企画である“ぶらりランチ”について、南足柄市社協の有償支援「えぶろん」の協力を
 を得て7回開催し、実利用6名延べ13名が「はま寿司」に出かけた。

⑥ 飲酒・喫煙

毎週、金曜日の夕食後に飲酒希望者を対象に喫茶コーナーにて飲酒サービスを実施して
 いる。5名(前年6名)の飲酒希望のうち定期的に飲酒されている方は4名である。 利用者の
 喫煙は喫煙所にて可能で、受動喫煙防止条例に準拠した対応となっている。

⑦ 浴室据置式リフトの導入

労働局の職場定着支援助成金(介護福祉機器助成コース)
 を活用し、一般浴室及び特殊浴室に、据置式電動リフト(スリ
 ングシート)を設置した。



7. 県西福祉センター(生活介護・自立訓練・就労継続・相談)の状況

毎月好評の第四土曜日の食事イベントを継続し楽しみ提供を実践するなど、年間利用人数10,500名の目標をかかげ運営したものの、年度後半に入院者が多く前年を0.7%下回り**10,068名**(前年10,142名)の実績となった。1日平均は**32.6名**(前年度32.8名)であった。登録者数は92名であった。一方各事業で利用日の見直しや入浴日の調整などに取組み業務を見直した。

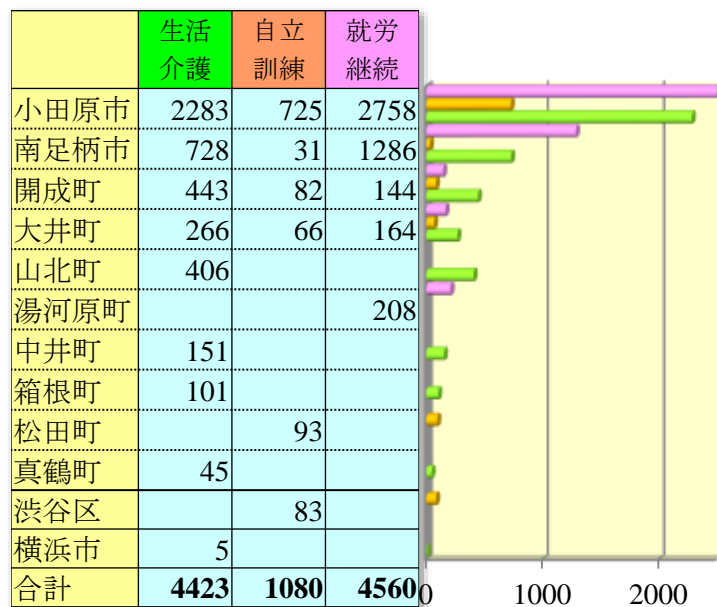
【生活介護事業】 ❖ 毎月のイベント、創作活動が定着した。業務の見直しをはかり、より多くの利用者受け入れを可能とした。延べ利用人数は**0.4%減**の4,428名(前年度4,632名)、1日平均14.3名(前年度15.0名)であった。

【機能訓練事業】 ❖ 個々の訓練プログラムに沿って計画的に訓練を行った。延べ利用人数は前年度より**35.3%減**の1,080名(前年度1,671名)となり、1日平均3.5名(前年度5.4名)であった。介護保険との棲み分けが難しく、希望があっても利用に利用がつかない現状にある。

【就労継続支援B型事業】 ❖ 個々の能力に応じ作業提供を行ってきた。自立訓練(機能訓練)終了後に移行する方が多く、前年度より**18.8%増**の延べ利用人数**4,560名**(前年3,839名)、1日平均14.8名(前年度12.4名)であった。

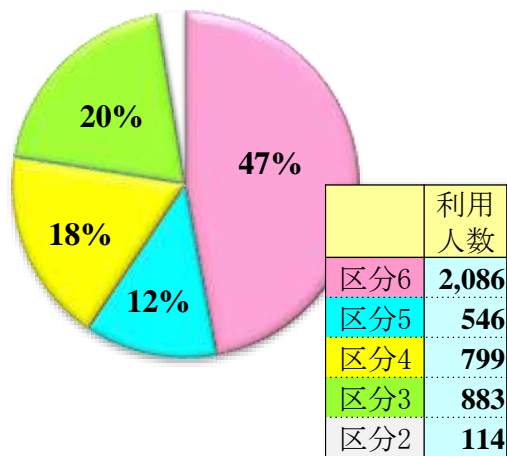
(1) 利用者の状況(3.31現在) 定員(生活介護30名/自立訓練12名/就労継続15名)

①地域別利用者延べ数(小田原市57%、南足柄市20%)

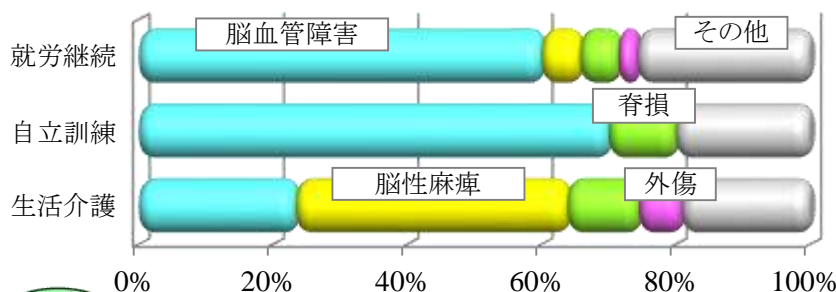


②生活介護利用者障害支援区分

平均障害支援区分 **4.8**(前年4.7)



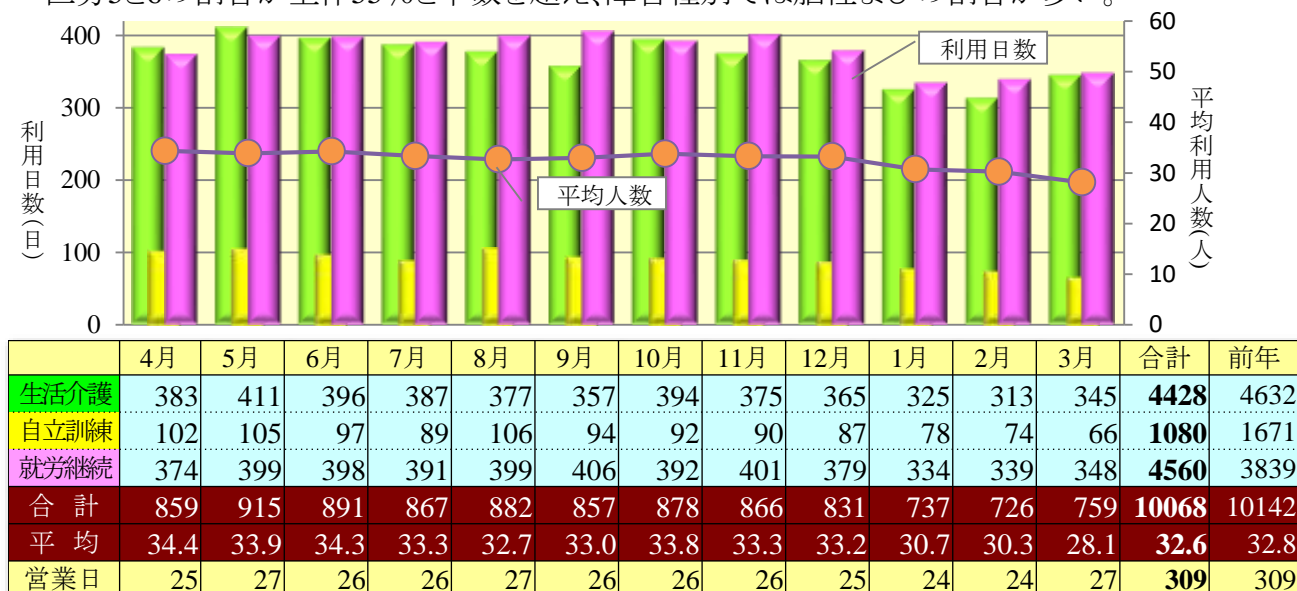
③疾患別原因:障害の原因が多岐にわたっている



	生活介護	自立訓練	就労継続
脳血管障害	11	7	21
脳性麻痺	19		2
脊髄損傷	5	1	2
頭部外傷	3		1
その他	9	2	9
合計	47	10	35

(2) 利用状況

年間利用人数は1万人を超えたものの、前年を74名下回った。特に年度後半は入院者が多く利用率が低迷した。全体の77%の方が中途障害の方である。生活介護では平均障害支援区分5と6の割合が全体55%と半数を超え、障害種別では脳性まひの割合が多い。



(3) 利用者工賃の支給状況

就労B型の登録者は**35名**(前年末31名)となった。新たな受注先を確保し切れ目なく作業提供ができた。単価の良い受注もあり、平均工賃は前年度より1,000円以上アップし**月平均4,587円**(前年3,503円)となった。また、時給換算でも26円アップ(135円)となった。

(4) 日中活動の状況

生活介護では毎月の行事が定着し、合せて絵本の読み聞かせを月に一度行っている。また、毎月開催の食のイベントでは3事業所の利用者の交流をはかった。

日	人数	活動名	日	人数	活動名	活動名	回数	参加	平均
4/22	34	チーズバーガー	10/28	34	手打ちそば	手話サークル	44	451	10.3
5/27	33	ステーキ	11/25	38	あんかけ焼きそば	音楽サークル	39	131	3.4
6/3	34	プレアデス祭	12/23	37	クリスマス会	卓球&カラオケ	47	282	4.7
7/29	38	うな井or牛丼	1/27	37	恵方巻き	ネイルアート	11	104	9.5
8/26	33	サラダうどん	2/24	29	坦々麺	絵本タイム	7	95	13.5
9/30	38	秋刀魚の塩焼き	3/24	28	握り寿司				

食のイベント開催状況(参加者数)

活動実績

(5) 相談支援事業

新規利用相談は、入浴と機能訓練の相談が多い。相談は相談支援事業所からが最も多く、次いで病院からの問い合わせが多い。地域別では小田原市からの相談が16件の相談のうち15件を占める。サービス利用計画作成は、全体で58名、内訳は足柄療護園入所者48名、在宅サービス利用者10名である。

生活介護相談	4件
訓練相談	7件
就労継続相談	5件
入所相談	件
短期入所相談	件

8. プレアデス(生活介護・就労継続・日中一時・相談)の状況

生活介護及び就労B型の年間利用者数は前年対比**7.2%増**の**13,147名**(前年12,264名)、1日平均**36.0名**(前年度33.6名)の実績であった。登録者63名でスタートし年度末では**66名**(生活介護26名、就労B40)となった。生活介護の利用者の障害支援区分は平均で**5.70**(前年5.44)とさらに重度となった。新規利用の**8割が精神障害者**で、長期入院からの地域移行者や長期引きこもりの方である事から、継続した利用支援が難しい実情がある。課題のあった送迎ルートの見直しを実施し、利用者の混乱を軽減した。

【生活介護事業】

❖ 障害支援区分の見直しにともない数名の区分が下がったものの、新規利用者2名が共に区分6であり、平均障害支援区分は昨年を0.26上回り5.70となり、より重度化している。今年度も利用者を3つのグループ(生産作業班、軽作業班、活動班)に分けて支援をおこなった。生産作業班は10名で1日3時間の作業を集中して行えるようになってきた。軽作業班4名も作業時間中は作業場所に留まる時間が増え、落ち着いて日中を過ごしている。活動班では個別支援に沿った活動を提供しつつも、他の班との連携をすすめた。

【就労継続支援B型事業】

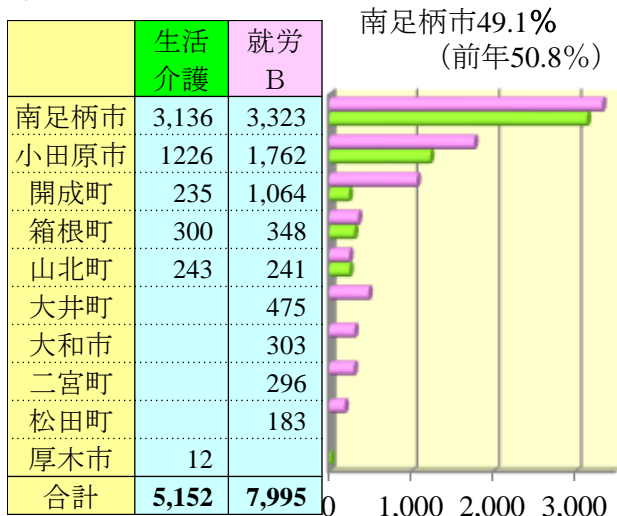
❖ 就労B型は4月に一般高校卒業生1名を受入れ、2名が一般就労に移行した。年度途中に新たに5名の方(内4名が精神障害)の受け入れを行い3月末で登録者40名となった。長い間作業受注をしていた企業が閉鎖となることにともない、新たな受注先企業の開拓に努め2社より作業を受注することが可能となり、利用者への提供作業量を減らすことなく推移することができた。また、今年度は南足柄市より共同受注窓口を通じ2回作業を受注した。一般就労への支援も積極的に行っており合同面接会に2名の利用者の参加支援をおこなったが就職には結びつかなかった。しかし連携をとっている特定子会社などへ2名の就職が決まった。

【日中一時事業】

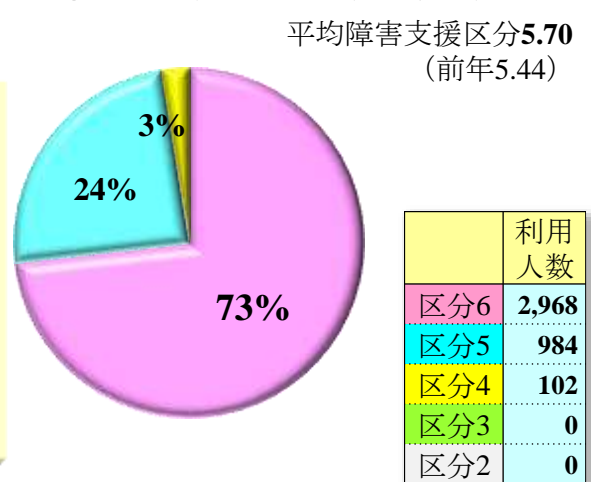
❖ 10月頃よりサービス提供の終了時刻を実情に合わせて19時から17時までに変更した。1名が利用終了となり3名が新規利用を開始し登録数は19名となった。

(1) 利用者の状況

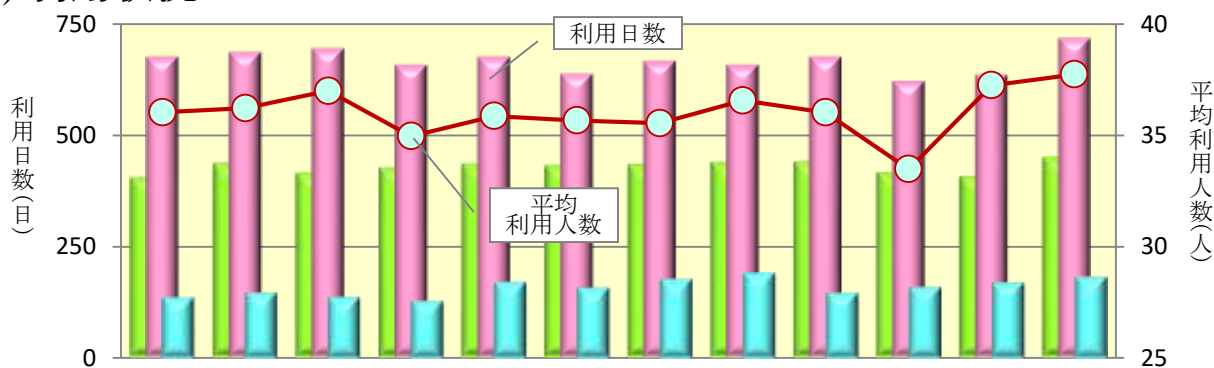
①地域別延べ利用者数



②生活介護利用者障害支援区分



(2) 利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年
生活介護	406	438	416	427	437	433	436	440	442	417	408	452	5,152	4,602
就労継続	675	685	694	657	675	637	666	657	675	621	635	718	7,995	7,662
合計	1,081	1,123	1,110	1,084	1,112	1,070	1,102	1,097	1,117	1,038	1,043	1,170	13,147	12,264
平均	36.0	36.2	37.0	35.0	35.9	35.7	35.5	36.6	36.0	33.5	37.3	37.7	36.0	33.6
営業日	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365
日中一時	136	147	137	128	171	158	177	191	146	159	169	182	1,901	1,788

(3) 利用者工賃の支給状況

一般就労に向けての支援と、工賃額アップを目標に支援を行い、プレアデス福泉(就労B型)の平均工賃は全体で13,724円と前年比より**670円向上**した。軽作業グループの平均は約8,600円、ふくらんでは24,056円であった。

	H29	H28
プレアデス全体	13,724	13,054
ふくらん以外	8,672	7,221
ふくらん	24,056	24,055

平均工賃実績

(4) 相談支援事業

施設利用について**32件**(前年37件)の相談があり、15件で見学や体験利用を実施した。そのうち生活介護2名、就労B 6名、ホーム3名が利用につながった。相談先は精神障害者及び精神病院からの問い合わせが全体の4割を占めている。また、高次機能障害に係る問い合わせも増加している。

生活介護相談	5件
就労継続相談	11件
入所・GH相談	10件
その他	6件

(5) 日中活動

生活介護としては、活動を3グループに分けたことで個々の利用者に沿った支援にかかわる時間を増やすことができた。また第2水曜日に利用者全員参加の創作活動を実施し、活動のリズムを安定させた。就労Bについては、利用者個別に作業内容や作業量を見直し作業時間を有効に活用するとともに仕事に対するモチベーション維持をはかり平均工賃上昇につながった。利用者主体研修「虫歯のできる過程と対策」を開催した。

(6) 施設外活動

身体を動かすことを取り入れた施設外活動を実施した。また家族を招いたバーベキューは参加総数122名で開催し、恒例のディズニーへの一泊旅行は参加利用者は42名となった。イベントでは家族の参加や協力も多く、利用者のみならず家族同士の交流の機会となった。さらに、「みんなのつどい」「西湘地区文化事業」等県西地区のイベントに参加した。



プレアデス一泊旅行

(7) 地域交流

恒例のプレアデス祭は盛大に開催することができた。

ふくらの出張販売のお声掛けをいただいた際には積極的に参加し、特に夏祭りでは16の自治会で出張販売を行い地域交流を深めた。

ふくらでの「買い物学習と地域福祉について」の題目で、南足柄小学校2年生91名を受入れた。



プレアデス祭は晴天に恵まれ
300名を超える方々にぎわった!

8. プレアデスホーム (共同生活援助定員36名)

体験利用を経て3名の利用者(男性3名)と契約に至った。ホーム全体では、定員36名に対し30名となった。やまさきホームは21名の利用者数となった。利用人数の増加にとまない、行事や外出などの支援をユニット単位で実施した。今年度より、ホーム専従職員2名の体制とすることにより支援を強化した。毎月住居事で世話人会議を実施し、利用者個々の生活を把握する事により、個別に応じた対応や各ホームでの生活ルール等を共有徹底した。

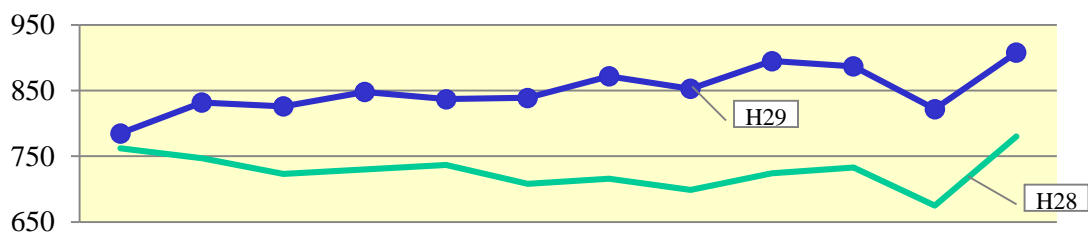
A.入所者の性別及び人数



B.障害支援区分

区分	あまつぼ			いずみ			やまさき			計	1	2	3	4	5	6	7	8
	男	女	計	男	女	計	男	女	計									
6	1	2	3				1	1	4									
5				1		1	1	1	2									
4		1	1				4	2	7									
3	1		1	1		1	3	1	6									
2	1		1	1		1	5	1	8									
1							3	3	3									

C.月別利用人数実績



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用日数	785	832	826	848	837	839	872	853	895	887	822	908	10,204
入院日数	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
外泊日数	21	35	14	20	31	20	27	17	35	43	18	22	303
前年	762	747	723	730	737	708	716	699	724	733	675	780	8734

ホーム単位で誕生会の開催や外出に出かけ、利用者同士の交流を深めている。また、2月3日から1泊2日で、毎年恒例の**県西地区グループホーム交流会**が、伊東市サンハートホテルで開催され、プレアデスホームからは15名が参加し、他法人のグループホーム利用者との交流をはかった。8月20日開催の**家族交流BBQ大会**にはホーム利用者23名と家族6名が参加し交流を深めた。12月16日には、年末大掃除を兼ね利用者のご家族や後見人などと交流会を深めた。

9.ふくらん販売状況

(1) 販売状況

店舗においては季節毎のセール、4周年セール等の企画を行った。新商品として、珈琲シュー、バニラクッキーシューを発売した。

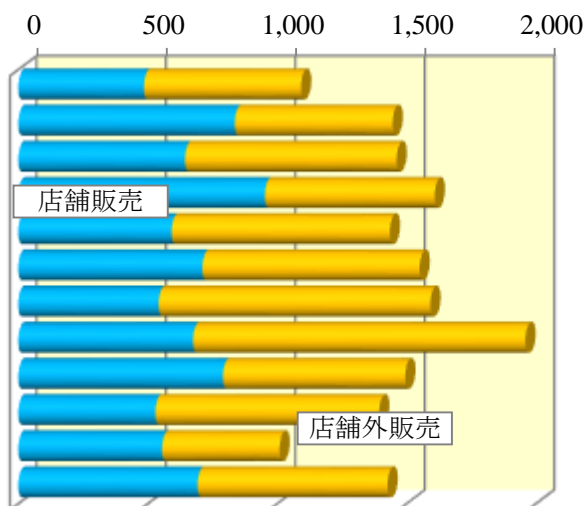
外部イベント等の出張販売については、生産量・販売体制を考慮し効果的な出店を行った。新たな販売先としてテルモ、城北高校、大井高校が加わり企業や公的機関との連携を深めた。また、鈴廣、イトーヨーカ堂、ラスカ等の大型店舗への出店も引き続き行った。

定期納品(委託販売)先として、小田原百貨店(山北店)が加わり市場拡大につとめた。

新規に4名が利用を開始し登録利用者数は15名となり、3月末の1日平均利用者数は8名(前年6.9名)となった。ふくらん利用者の年間平均工賃は24,056円であった。

◆月別販売実績(単位:千円)

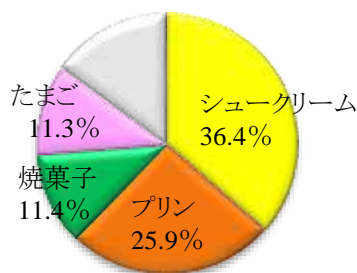
	店舗	店舗外			売上 合計	前年 売上
		小計	外販	受注等		
4月	486	607	350	258	1,093	1,200
5月	837	610	298	312	1,447	1,785
6月	644	818	561	257	1,462	1,164
7月	953	656	388	268	1,609	2,106
8月	592	844	578	265	1,436	2,003
9月	712	839	430	409	1,551	1,195
10月	543	1,050	796	254	1,592	1,526
11月	676	1,284	891	393	1,960	2,266
12月	791	704	345	359	1,495	1,836
1月	530	864	645	219	1,395	904
2月	556	454	251	204	1,010	2,727
3月	693	734	522	212	1,427	1,313
合計	8,013	9,464	6,054	3,410	17,477	20,026



◆店舗部門別販売実績(レジ集計値)(単位:千円)

部門	売上	構成比	販売数	前年売上
シュー	3,000	36.4%	16,582	3,278
プリン	2,138	25.9%	11,766	2,430
焼菓子	942	11.4%	4,723	1,036
たまご	930	11.3%	4,226	826
その他	1,231	14.9%		1,261

※レジ集計値なので、現金売上金額とは若干異なる



(2) 取り組み

11月20日と22日の2日間に分け、南足柄小学校2年生(教職員合わせて91名)が見学し、「ふくらんのなぞをしらべよう!」に取り組みました!!

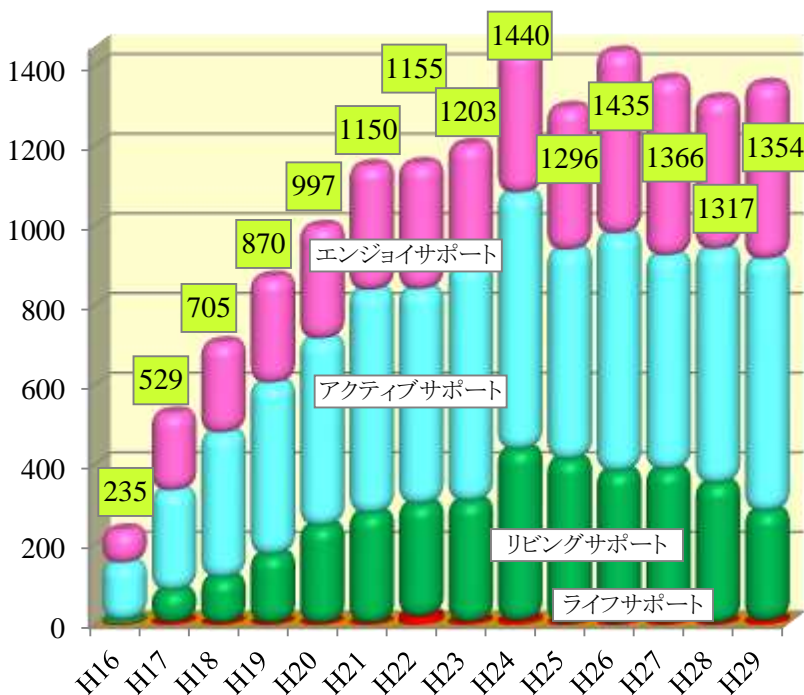
3月27日には南足柄社会福祉協議会からの依頼でしゃぼん玉の会に参加する児童(15名)達にシュークリームの最終工程体験試食会を開催した。



10. ボランティア活動の状況

(1) ボランティア実績

年間ボランティア数の目標を1,500名とし取り組み、**1,354名**（前年1,317名）の活動誘致を実現した。特に学校に対して電話で依頼しチラシを配布するなど積極的に誘致活動を行い、学生の活動は**69名**（前年62名）に留まった。クラブ活動については、地元の**いずみ地域福祉会**の献身的な取り組みで**409名**のボランティア活動を得て、日中活動の充実がはかられた。プレアデスにおいては300名の目標を掲げ、**205名**（前年254名）を受入れた。



利用者の生活面から、ボランティアの活動を四つの階層に区分し、それぞれの階層ごとにボランティアの活動を誘致している。

エンジョイサポート	440人	利用者参加型のイベントや公演
アクティブサポート	632人	利用者活動の支援
リビングサポート	276人	生活にかかわる支援
ライフサポート	6人	身体介助にかかわる支援

ボランティア活動述べ数

(2) ボランティアイベント開催状況 45回1,336名(前年54回1,483名)が参加・鑑賞した。

催事	参加	様子	催事	参加	様子	催事	参加	様子
車いすダンス 矢車草の会	184名 /5回		ピアノ&ドラム ピクルス	163名 /5回		おはなし 青い鳥	102名 /7回	
絵本タイム とんちゃん	95名 /7回		ハワイアン カマカハワイアンズ	95名 /2回		子供ピアノ リズムカ	78名 /2回	
小田原 奇術クラブ	71名 /2回		アニマル セラピー	70名 /4回		大正琴 華音	57名 /2回	

(3) ボランティア食事会

日ごろのボランティア活動に感謝し、5月26日にボランティアの方々をお招きし、職員との懇親を兼ね食事会を開催した。**43名**の方が参加した。



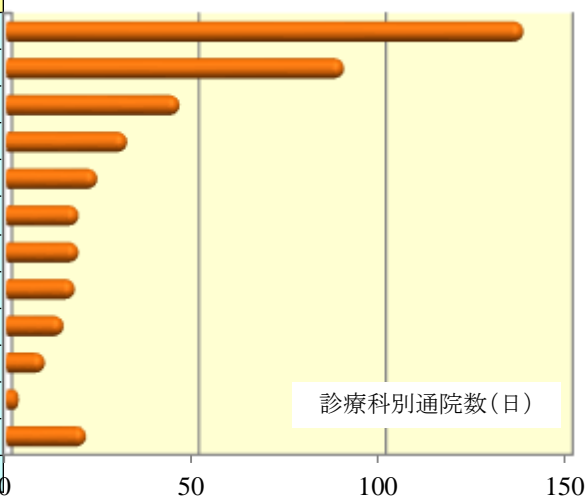
11. 健康管理の状況

(1) メディカル

口腔ケアの自立度が低下し、う歯が増え歯科受診が増加傾向にある。通院数は年間435件(前年421件)、入院日数は実数19名延べ24名349日(前年595日)であった。

通院/入院実績

	通院			入院		
	人数	延人数	H28	延人数	日数	H28
歯科	29	138	126			
内科	31	90	68	12	152	54
神経内科	9	46	33	2	59	223
脳神経外科	7	32	45			8
眼科	6	24	11			
精神科	5	19	49	1	62	148
整形・形成	10	19	21	1	19	
泌尿器科	3	18	28	3	23	11
皮膚科	4	15	17	2	14	
耳鼻咽喉科	2	10	6	1	3	22
外科	2	3	9			129
その他	14	21	8	2	17	
合計		435	421	24	349	



	対象者	件数
膀胱洗浄	3	260
摘便	5	225
義眼洗浄	1	103
褥瘡	8	521
経管栄養	3	1007
バルーン交換等	2	24
その他	吸引 / 皮膚科処置 / 胃瘻・膀胱瘻処置 / 眼科処置 / 採血 / ストマケア / 気切部処置	

入所者の日常的処置実績

(2) リハビリ (訓練等サービス)

※その他の入院は、救急外来64日/4名。

リハビリテーション実施計画書に基づき、個別リハビリテーションを行い、身体・認知機能の維持・向上をはかった。特に、利用者の高齢化・障害重度化に対応すべく、チームアプローチを徹底した。

機能訓練等

訓練の必要性に応じ、理学療法士を中心として機能維持訓練を実施した。

生活の中での訓練を重要視し、生活に根差した訓練プログラムの立案をした。

また、身体機能に合わせた車いす等補装具の調整提案をした。

言語訓練

必要に応じ摂食嚥下機能の評価を行い、訓練や食形態の調整等を行った。

高次脳機能・コミュニケーション能力の向上など目的別小グループ訓練を継続した。

教育機関、地域コミュニティーなどにむけた利用者講演活動を継続した。

	利用人数	延べ数	事業別			
			H28	入所	県西	プレ
言語訓練	44	1,260	1,318	482	648	130
機能訓練	43	1,623	1,849	886	737	
作業訓練			60			
音楽療法	40	579	540	464	115	
グループセラピー	9	256	255	256		
合計	136	3,718	4,022	2,088	1,400	130
訪問マッサージ	24	2,487	2,112			

※訪問マッサージは、マッサージ業者と利用者個人の契約によるもの。

音楽療法(月2回実施)

音楽の持つ生理的・心理的・社会的働きを用いて、心身の障害の回復、機能の維持改善、生活の質の向上、行動の変容などをはかった。

目的別に4種の小グループを構成し、音楽の特性を生かし各機能の向上を促した。

12. 給食の状況

(1) 食事提供実績

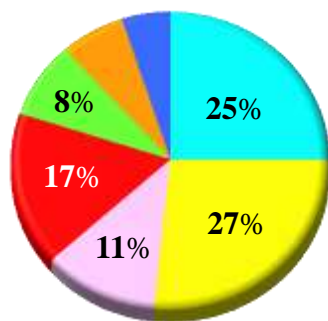
厨房は、足柄療護園とプレアデスホームの2箇所で開催しており、プレアデスホームの厨房では、ホームの食事とプレアデス通所の昼食を提供している。給食管理はともに、栄養士業務も含めて日清医療食品㈱に業務委託している。合計提供食数は、グループホーム分が増加し111,195食であった。

食のあり方検討会において食形態やソフト食等の内容について検証を行うとともに、食のイベントの検討確認を行った。

	食数
朝食	32,616
昼食	45,930
夕食	32,649
合計	111,195
施設	60,345
短期入所	3,548
県西福祉C	9,727
プレアデス	12,020
ホーム	21,066
職員他	4,489

① 食事の提供形態; 入所者の常食は25% (前年33%) ② 栄養量

4月～3月 給食提供実績



入所者の食事形態

	入所	県西
常食	15	82
一口大	16	11
1cm大	7	4
きざみ	10	5
超きざみ	5	4
ミキサー	4	5
経管栄養	3	0
合計	60	111

3.31現在

	足柄療護園	プレアデス
カロリー	1728 k ^{カロ}	2010 k ^{カロ}
たんぱく質	66.8 g ^{グラム}	74.1 g ^{グラム}
脂質	50.9 g ^{グラム}	53.9 g ^{グラム}
カルシウム	588m ^{グラム}	614m ^{グラム}
塩分	7.6 g ^{グラム}	7.8 g ^{グラム}

(カロリー制限食も含む)

③ 食事費用概算

給食費は、入所利用者より1日1,430円をいただいている。(短期・通所は朝400円・昼650円・夕食550円)

プレアデス対象の厨房の体制強化に伴い、委託料が増加し1日1,888円(食材費869円、委託費分1,019円)となった。

	平成29年度	平成28年度
業務委託費	37,778 千円	37,778 千円
食材費	34,795 千円	33,767 千円
1食当	313 円	314 円
1日当	869 円	871 円
給食費	72,573 千円	71,545 千円
1食当	653 円	666 円
1日当	1,888 円	1,927 円

※給食にかかわる光熱費は含まず。

(2) 食のイベント

誕生日メニューやちょっと贅沢を味わう「お誕生日メニュー」やイベントによる食事提供を行った。

4月12日	お花見弁当
5月5日	カツオたたき
6月21日	鯉の天ぷら
7月7日	七夕そうめん

7月25日	うな井
9月20日	手打ちそば
12月25日	クリスマス
1月1日	お正月

2月3日	恵方巻き
3月3日	ひなまつり

その他、毎月地域の御膳を提供。

(3) 給食検討会

利用者参加もしている給食検討会を年3回開催した。会議には、調理師や委託業者の担当者も加わり、給食に対する要望の実現に向け検討を適切に行った。

開催日	参加者
5月31日	利用者 10名
12月29日	利用者 7名
3月28日	利用者 19名

給食検討会開催状況

(3) 食のあり方検討会

隔月で「食のあり方検討会」を開催し食形態やソフト食の推進について検討を重ねた。「食事観察依頼書」「食事観察経過評価用紙」を用いて、適切な食事形態の確保に他職種で取り組んだ。また、摂食・嚥下に関する職員研修を実施した。

13. 権利擁護の状況

(1) 苦情の受付状況

平成29年度は苦情の申し出はなかった。

(2) K-フレンズの活動

※K-フレンズ =かながわ身体障害福祉ネットワーク
(身体障害者自らが主となる権利擁護・苦情解決ネットワーク)

足柄療護園に毎月来園し、利用者から**33件**の相談を受け、施設への報告のもと適切に対処した。また、**給食検討会**への参加及び**助言**や利用者活動にかかわる情報交換を行った。

(3) KWネットの活動

※KWネット =県西地区障害者施設権利擁護ネットワーク
(県西地区で活動するオンブズマン組織)

新たに女性の相談員の方が着任され、女性利用者の相談が増えた。年4回の相談日の他、ボランティアとして2回施設行事に参加していただいた。

(4) 身体拘束ゼロに向けた取り組み

身体拘束マニュアルに沿って、ご本人ご家族と同意のうえ、実施している内容のうち、足柄療護園入所者**11名13項目**(前年9名12項目)、短期入所利用者**9名13項目**(前年7名11項目)、通所を含め**合計28項目**が身体拘束・行動制限に該当している。解除した方は**4名**であった。

拘束内容	目的	件数
ベッド柵	転落防止	6
センサー設置	外出防止	5
トイレテーブル	座位保持	3
トイレベルト	座位保持	1
胴体ベルト	転落防止	5
車いすベルト	転落防止	3
その他		6

身体拘束状況

(5) 成年後見制度等利用の推進

足柄療護園入所者60名のうち、現在**17名**が制度を利用し1名が調整中である。プレアデスホーム利用者30名のうち後見制度利用は**9名**となり、社協の安心サービス利用は**6名**となっている。

(6) 人権チェック調査結果

12月に法人職員98名に対して、利用者支援にかかわり自らを省みる機会として、また利用者の人権を尊重するうえで必要な心構えを共通の認識とすることを目的に『**人権チェック**』調査を実施した。

平成28年の調査結果と比較すると、約半数の項目で評価が下がっている。最も評価の低かった項目は『他の職員の利用者への対応について、問題があると感じたことがある』で、具体的な内容を把握していく必要があること、また『利用者の言葉遣いや歩き方などのマネをしたことがある』の項目の評価が最も下がっており、人権への配慮について見直す必要があることを職員会議等で周知した。

評価の低かった項目

他の職員の利用者への対応について、問題があると感じたことがある。

職員側の価値観や都合で一方的・画一的な援助内容とならないようにしている。

飲み会など施設外の場所で、利用者にかかわる話題を取り上げたことがある。

昨年に比べて評価の下がった項目

利用者の言葉遣いや歩き方などのマネをしたことがある。

上司とは、コミュニケーションがとりやすい雰囲気である。

飲み会など施設外の場所で、利用者にかかわる話題を取り上げたことがある。

昨年に比べて評価の上がった項目

障害者差別禁止法を知っていますか？

身体拘束を行なう場合は、本人及び家族等へ説明し同意の上、必要な記録を残している。

利用者からの要望や申し出について、真摯に耳を傾けている。

14. 安全管理の状況

(1) 防 災

防災計画に基づき、避難訓練及び防火訓練を実施した。

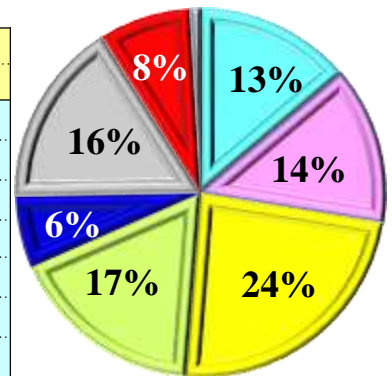
月日	内 容	
6月22日	総合訓練	管理棟1階洗濯室より出火を想定した避難訓練、模擬通報訓練、水消火器を使用した消火訓練実施。
9月20日	部分訓練	管理棟3階エレベーターホールより出火を想定した避難訓練、通報訓練。施設外への2次避難実施。
12月20日	総合訓練	居住棟1階娯楽室より、出火を想定した避難訓練、模擬通報訓練、水消火器による消火訓練実施。消防署員指導による救命救急、AEDの使い方講習を開催。
3月29日	総合訓練	夜間帯を想定した訓練。管理棟1階喫茶コーナーより出火を想定した避難訓練、模擬通報訓練、水消火器による消火訓練を実施。

足柄療護園 避難訓練実施実績

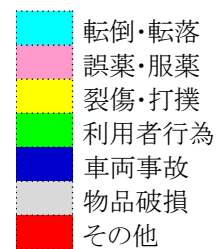
(2) リスクマネジメント（事故報告）

リスクマネジメント報告書による**事故件数は435件**で前年の449件とほぼ同数であった。事業所別では入所が**304件**（前年323件）で、**全体の70%**を占める。内容別では**裂傷・打撲が24%**で最も多く、利用者行為が17%と続く。転倒・転落では、60件中職員のかかわりがあるものが11件（15%）発生した。**救急車による搬送**を必要とした大きな事例（ライフガード）が**4件**（すべて急変）発生した。転倒等による事故により施設車両による緊急通院は11件発生した。今年度より医療ケアのトラブル（6%）と物品破損（16%）の集計を分けたため、その他が8%と前年17%のより減少した。

4月～3月	転倒/ 転落	誤薬/ 服薬	裂傷/ 打撲	利用者 行為	車両 事故	物品 破損	その他 ※	ライフ ガード	合計 (%)
服薬時		37		1					38 9%
自由時間	13	3	49	43		7	7	1	123 28%
排泄時	9	4	15	6	3	2			39 9%
食事中		8	3	14	6	6	11		48 11%
歩行・移動中	6								6 1%
就寝時	6	1	5	1	7	2		3	25 6%
車椅子乗車時	20		2	4	6	1			33 8%
入浴時	2		26	2	2	7	2		41 9%
移乗中	4		2		2	2			10 2%
立位時									0 0%
その他		7	1	4	1	44	15		72 17%
合 計	60	60	103	75	27	71	35	4	435
(前年)	96	51	47	98	26	126		5	449



事故種別状況



※その他＝医療ケア関係41件、物品破損36件、 リスクマネジメント報告書内容

(3) インシデント(ヒヤリハット)

ヒヤットと共有書によるインシデントの件数は**1年間で324件**（前年330件）であった。内訳では、自力による移乗などの利用者行為にかかわる内容が**147件**（前年125件）で最も多く、車いすからずり落ちそうになっていたなどの転倒/転落が35件（前年59件）、薬の飲み忘れなど服薬にかかわる内容は56件（前年56件）であった。

部署別では、足柄療護園が218件と6割を超える。

15. コミュニティ(地域交流)の状況

(1) 地域との交流

秋まつりやプレアデス祭では多くの地域の方々に参加していただいた。11月26日に地域にも声掛けし障害者福祉啓発を目的に足柄ふれあいセミナーを開催し89名(外部34名)が参加した。



足柄療護園秋まつり

(2) 利用者講演

地域福祉への貢献活動として実施している活動は10年目を迎えた。高校PTAの研修会に招かれるなど、21回1,989名に対して講演を行い、累計聴講者数は7200名を超えた。

月 日	依頼元	対象者	参加者	利用者
H29.7.3	神奈川県立高浜高校	1年生	240	1
H29.7.11	小田原短期大学	保育学科2年生	130	3
H29.10.7	高校PTA連合会	高校PTA 平塚秦野地区	320	1
H29.10.23	小田原短期大学	保育学科1年生	145	3
H29.11.22	北里大学医療衛生学部	言語聴覚療法学1年生	30	2
H29.11.27	神奈川県立高浜高校	1年生	240	3
H29.12.5	日本女子大学	社会福祉学科1年生	120	2
H30.2.15	厚木マルベリーライオンズクラブ	公開例会	62	1
H30.2.27	茅ヶ崎リハビリテーション	言語聴覚学科1年生	35	2
H30.3.22	足柄高校	1.2年生	480	1

主な利用者講演実績

(3) 地域自治会との連携

『ふくらん』の出張販売を機会として、自治会のお祭りや文化祭など18の自治会(前年14)にお声掛けいただき、出店参加し、地域との交流をはかることができた。

また、足柄療護園、県西福祉センターでは「三竹」「沼田」、プレアデスでは「関本」の自治会文化祭に利用者作品を出展させていただいた。



利用者講演
於神奈川県立足柄高校

16. 広報の状況

(1) 広報誌『やまぶき』の発行

広報委員会において広報誌「やまぶき」の発行を行った。利用者の活動や生活の様子を伝えることを主に年4回発行し、利用者・ご家族、地域自治会、関連業者、行政を含めた関連機関等へ約650部印刷し配布した。

通巻	発行日	主な内容
61号	4月30日	平成29年度事業計画 防犯対策工事案内他
62号	7月30日	平成28年度事業報告 プレアデス祭案内 他
63号	11月30日	秋まつり特集 各事業所ニュース 他
64号	1月30日	新年のあいさつ ふれあいセミナー報告 他

やまぶき発行実績

(2) ホームページ&SNS

足柄療護園のホームページは、定期的な活動を中心に更新を行った。ホームページへの掲載は利用者説明の上、快諾いただき、利用者の活動を中心に適宜更新を心掛けた。また、県西福祉会、足柄療護園、県西福祉センターのフェイスブックページを活動やイベントを中心に随時更新した。

ふくらんについては専用のホームページやフェイスブック(“いいね!”は1,153)を随時更新した。平成29年5月より、インスタグラムを開始し、認知力向上につとめた。



インスタグラム

17. 渉外関係(家族会・実習生/研修生等)他

(1) 実習生・研修生の受け入れ

足柄療護園では言語聴覚士の実習や大井高校の社会福祉援助技術履修生の介護体験や介護実習を受入れた。

プレアデスでは、学校教諭の体験実習や小田原短期大学保育学科12名の実習等を受入れた。また、小学生の地域学習の受け入れを行った。

	内容	依頼先	受入数	実習期間
足	ST実習	北里大学	1	8/7～9/16(30日)
足	ST実習	大阪医専	1	9/19～10/16(20日)
足	介護実習	県立大井高校3年生	16	6月、10月(3日)
足	介護実習	県立大井高校2年生	8	11月9日
ブ	5年経験実習	北足柄小学校教諭	1	7/31～8/2
ブ	5年経験実習	南足柄中学校教諭	2	8月、11月(5日)
ブ	職場体験	小田原養護学校教諭	1	8月15日
ブ	地域学習	南足柄小学校2年生	91	11/20,22
ブ	保育実習	小田原短期大学	12	8月,9月,12月 (各2週間)
ブ	保育実習	鎌倉女子大学	2	9/11～9/22
ブ	保育実習	鎌倉女子短期大学	2	9/18～9/29

実習受入実績

(2) 自治会(三竹会)活動

施設入所者自ら自治会を組織し活動を実施してきたが、平成22年度より役員選出が滞り、実質活動休止状態となっている。

(3) ご家族との交流等

足柄療護園全入所者のご家族を対象に足柄療護園家族会を組織している。会費納入者は**38家族**。5月と12月に家族会全体会を開催し、終了後、施設清掃にご協力いただいた。また、5月には**親睦パーティー**を開催し、職員・ご家族同士の親睦を深めた。秋まつりではバザー品の販売を行い売り上げは**47,280円**であった。(平成29年度会長:勝俣正夫氏)

プレアデスでは、8月に家族をお招きし、夕日の滝でバーベキューを行った。また、ホーム利用者のご家族には12月の大掃除をお手伝いいただいた。



プレアデスBBQ



足柄療護園家族会懇親会

5月 29日	家族会総会 参加23家族35名	懇親会 施設清掃協力
10月 7日	秋まつり準備 役員等8家族10名	バザー品の 値付け
10月 15日	秋まつり協力 役員等8家族10名	秋まつり協賛 バザー販売等
12月 24日	家族会全体会 参加23家族37人	クリスマス会協賛 施設清掃協力
3月 4日	役員選出会議 役員等6家族11名	役員選出

足柄療護園家族会活動実績

(4) 施設見学

足柄療護園では、施設紹介や障害福祉啓発のため、施設見学の積極的な受入を実施した。厚木市南毛利地区、依知南地区民児協、山北町清水美保地区民児協、南足柄市社協、中央医療健康大学校理学療法学科1年生など、計**7団体126名**の方が訪れた。施設見学の際には、時間的な都合が許されれば、**利用者の講話**や**利用者による施設案内**を行うなど、他の施設とは違った足柄療護園独自の取り組みを行った。



南足柄市社協
ボランティア講座見学30名

18.施設再整備計画の推進状況

平成13年4月に開設した施設は17年が経過し、経年劣化による設備の更新時期を迎えており、施設運営を継続していくうえでも施設の再整備を計画的に進めていくこととし、平成28年から「施設再整備3カ年計画」に基づき、順次更新工事等に着手している。

更新工事等の実施状況

施設整備3カ年計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	実施済	実施済	計画
空調設備更新工事	○	○	○
外壁塗装		○	
屋上・屋根防水工事		○	
大型洗濯機更新工事	○		
大型乾燥機、汚物処理器更新工事			○
給湯チラー更新工事	○		○
照明設備・非常用照明等更新工事	○		
車椅子式浴槽及び寝台浴槽の更新			○

平成29年度 部門別重点実施事項 実施報告

生活支援課	年度重点実施事項		実施結果
より意欲的に取組める日中活動を構築する	わくわく委員会主導で新たな活動・外出先の検討を行い、個別支援計画と連動した活動の実践を行う。日中活動実施を計画的に実施する。	4	新たな外出先の検討を行い、沼津港に行くなどの新たな対応を行った。個別支援計画に対して、ケース担当、日中担当職員と連携し、対応を行った。
魅力的な就労支援サービスの確立			
その人らしさを引き出す役割支援の強化	利用者講演の継続的な支援や、施設案内など利用者個々の状態に合わせた役割支援を行う。いきいき委員会を中心に利用者中心の活動支援を行う。	3	新たな講演活動の場を提供できた。いきいき委員会を中心とした、ぶらり外出などの継続はできたが、利用者中心とした活動の実現を行うことはできなかった。
個別支援の強化	グループ制により多方向からの支援の強化、及びご本人の意向をくみ取る。グループ長を中心とした個別支援を実施する。	5	グループ制により支援計画の実践を行い、より具体的な実現を行うことができた。グループ長を中心に個別支援を実施し、専門職などに助言を仰ぎ対応を行った。
運営体制の強化	グループ体制により中堅職員のリーダーシップ向上をはかる。医療ケアなど安全に実施するために各部署が協力し実施できるようにする。	4	医療ケア等の支援は、看護師との連携により安全に実施できるように確立し、状態の早期発見・対応を行い病院へつなげられるように対応を行うことができた。
成年後見制度利用促進と権利擁護意識の向上	家族への説明会の実施するなど各々に利用促進を促す。身体拘束廃止に取り組み、権利擁護意識の向上をはかる。	3	身元引受人のいない方に対し後見人申立てでの対応などを行った。身体拘束に対して意識の向上などの議論し、廃止に向けた時間の削減などを行うことはできた。
専門的知識の習得とマネジメント力の向上	教育体制・支援方法の見直しを行い、新人職員の育成の強化をはかる。職員による研修の実施を計画的に行い、職員のスキル向上を目指す。	3	教育方法の見直しを行い、コーチャーだけでなくサポーターの設置などで指導の情報共有および勤務ごとの重点的な指導が行えるようになった。
利用しやすい地域サービスの実現	あんしんネットとミドルステイの利用調整を行い、安定した短期入所の運営を行う。相談事業所、病院等と連携しサービス利用につなげる。	5	短期入所の利用調整を行い、安定した利用となるように対応を行った。担当者会議等に参加し、新たなニーズやサービス利用をつなげるように対応を行った。
あらたな地域拠点拡充に向けた準備	事業拡充に向け、短期入所の増床に向けた検討を行う。	2	あらたな地域拠点に向け、ここ数年の相談状況等の確認を行い、短期入所のニーズ把握を行った。
地域貢献事業の検討	地域の事業所、関係機関を対象としたオープン研修を実施し、地域のネットワークづくりを行う。	2	継続してオープン研修の実施を行った。新たなネットワーク作りを実施することはできなかった。
教育機関及び地域との連携強化	車いす講座等を開催し、ボラ養成を行う。介護福祉士等養成校と連携、情報交換を行い、実習受入の調整、受入体制の確立を行う。	2	ボランティア講座の企画を年2回実施したものの応募がなかった。介護福祉士の養成校との連携・情報交換を実施することもできなかった。
地域福祉課	年度重点実施事項		実施結果
より意欲的に取組める日中活動を構築する	月間行事・日中活動を強化する。外出支援について構築する。	4	生活介護を中心に月間行事・日中活動をすすめた。外出については、着手できなかった。
魅力的な就労支援サービスの確立	作業の効率化や作業の安定化をすすめ工賃向上に努める。個々の能力に応じた作業の提供する。工賃規定の見直しを行う。	4	新たな受注先を確保し年間を通して作業提供できた。作業工程を細かく分け、個々の能力に応じて作業が行えるよう努めた。平均工賃は昨年度を上回った。
その人らしさを引き出す役割支援の強化	個々のニーズをモニタリングし、ニーズ・障害特性にそった支援を提供する。定期的なモニタリングを実施する。	4	個々のニーズ、障害特性にそった支援を提供してきた。定期的にモニタリングを実施し個別支援計画に反映させた。
個別支援の強化	サービス利用計画と連動した個別支援計画の作成とモニタリングの強化。他の相談事業所や関係機関との連携を強化する。	5	相談事業所と連携しサービス利用計画のニーズや施設の役割を理解し個別支援計画を作成した。また、定期的にモニタリングを行い、各機関と情報を共有した。
運営体制の強化	各事業の体制を強化し、特性を活かしたサービスを提供する。	4	通所3事業の特性を活かし、サービスの提供に努めた。
成年後見制度利用促進と権利擁護意識の向上	利用者・家族への成年後見制度の利用をすすめる。利用者接遇意識を高め人権意識の向上をはかる。	2	通所利用者の成年後見制度利用の促進には至らなかった。利用者接遇意識については会議等で人権意識の向上をはかった。
専門的知識の習得とマネジメント力の向上	研修に積極的に参加し専門知識・マネジメント力を強化する。中堅職員の役割を強化し支援員の能力向上を行う。	4	積極的に研修に参加できるよう調整を行い参加した。それぞれの役割を明確にし支援、活動に繋げた
利用しやすい地域サービスの実現	地域・関係機関等への通所事業の役割を周知し、より利用しやすいサービスを提供する。年間利用者延べ人数10500名を目指す。	3	相談事業所、病院を中心に情報を発信し新規利用者を受け入れた。年間延べ利用者数は目標数値に至らなかったが10,068名の実績となった。
あらたな地域拠点拡充に向けた準備	地域の適正・ニーズにそったサービスを提供する。また、事業拡充に向けた新たなサービス提供のあり方の検討を行う。	4	個々の適正、ニーズにそった通所サービスを提供してきた。新たなサービスを展開するまではいかなかった
地域貢献事業の検討	地域や社会福祉事業者と連携し障害福祉啓発活動をすすめる。	2	地域の文化祭、足柄上地区のちいさ・ふくし博等に参加し障害福祉啓発活動をすすめた。
教育機関及び地域との連携強化	養護学校・特別支援級の体験実習受入れ。定期的な情報交換を行う。	4	小田原養護学校、体験実習を受け入れを行い、適宜情報交換を行った。

平成29年度 部門別重点実施事項 実施報告

プレアデス	年度重点実施事項		実施結果
より意欲的に取組める日中活動を構築する	季節行事と月次行事を見直し、可能な限り合同に行うことで、準備時間・経費削減を目指し、かつ利用者にとって合った活動を提供する。	5	3つのイベントを合同開催にしたこと、また年間で創作行事の内容を決めたことで、活動の充実を実現するとともに業務の効率化と経費削減につながった。
魅力的な就労支援サービスの確立	利用者のニーズに合わせて、個別支援計画で一般就労を想定した具体的な作業内容を提供しながら、一般就職に結び付けていく。	4	日頃のマナー指導や就職につながる履歴書の書き方や面接訓練、ネクタイの結び方の講習を行った。2名が一般就労につながった。
その人らしさを引き出す役割支援の強化	利用者本人のストレングスを個別支援計画に起こし、日中支援内に組み込むことで本人の役割達成感に結び付ける。	4	褒めることで本人の仕事への意識を高めながら、自閉傾向の方への環境設定をきめ細かく調整し、利用者個々が仕事の効率が上がり達成感につながった。
個別支援の強化	複数の支援員視点から、アセスメントを新たに取組む事で、埋もれていた新たなニーズを掘り起こす。	4	重度の方を中心にアセスメントを複数の視点から作成し過去の物とも照らし合わせる事で、現状に合った本人ニーズを明確化、個別支援に反映させることができた。
運営体制の強化	日中支援事業所とグループホームでの支援員、世話人の役割を明確にし、円滑な支援体制や運営体制を構築する。	4	通院に関してはGH担当職員が中心となることで、通院の重複は減少した。また、日頃から連絡を取り合い通所とGHでの支援が円滑に行えた。
成年後見制度利用促進と権利擁護意識の向上	成年後見制度に直ぐに結びつかない方に、地域の日常生活自立支援事業の活用を勧め、オンブスマンと協力し権利擁護に努める。	4	成年後見制度の利用や南足柄協会の自立支援事業を利用している方増した。年度よりオンブスマンが女性の方に変わり女性利用者も相談しやすくなった。
専門的知識の習得とマネジメント力の向上	テーマを絞っての少人数・短時間での研修を実施し、職員個々の専門的知識の底上げをする。	3	年3回の研修を実施。内容は現在支援を行っている利用者の障害特性等を中心に実施した。
利用しやすい地域サービスの実現	医療機関のケースワーカーや相談事業所及びオンブスマンに対し、施設見学を実施し具体的な施設内容を周知する。	4	相談支援事業所や医療機関のワーカーを中心に、施設見学を実施した。長年付き合っているワーカーにも見学していただき施設の新たなアピールを行った。
あらたな地域拠点拡充に向けた準備	高次脳機能障害の方の退院後の地域定着について、医療機関と連携をはかりながら、新たなサービス提供の仕組みを検討する。	4	医療機関を中心に高次脳機能障害の方の地域移行及び就労復帰について問い合わせが増え、医療と地域を繋ぐハブ施設としての役割が定着しつつある。
地域貢献事業の検討	地域の他施設と合同で行うイベント等や施設間交流を企画検討し施設間の連携を強める。	4	地域の施設と連携を取り、施設イベントで使用するおやつ等をお互いの商品を購入し合うなど、お互いの施設を往來し連携交流を深めた。
教育機関及び地域との連携強化	圏域の小・中・高・大学や養護学校と連携を取りながら、実習・体験学習の場として施設での受入れを拡大する。	5	保育実習生については4つの教育機関から相談を受け、年間16名の学生を受け入れた。地域の教育機関からも多くの実習・体験学習の生徒を受け入れた。

プレアデスホーム	年度重点実施事項		実施結果
より意欲的に取組める日中活動を構築する	活動希望など、利用者の意向を取り入れ、外出や行事などを整理し、個別支援計画と連動したホームでの余暇支援の充実に努める。	4	個別外出では、計画相談と連携しながら、余暇の過ごし方を整理し、週末利用可能な移動支援サービスと調整し、月単位で本人の外出計画を行った。
魅力的な就労支援サービスの確立	一般就労に結び付けられるよう個々の能力を引き出し、就労している利用者へは定着できるようホームでの生活をサポートする。	4	就労意欲低下している利用者へは、利用日数の変更や、他事業所見学を行った。また、一般就労の利用者へは企業と連携し本人の生活へのサポートを行った。
その人らしさを引き出す役割支援の強化	本人の思いを実現するために、ご家族関係者と連携し、向かうべき目標を本人と一緒に検討する。	4	ホームでの生活だけでなく、交友関係、職場関係、家族関係など、本人の悩み、思いを引き出せるよう本人、ご家族、各関係機関等との関わりを強化を継続した。
個別支援の強化	各関係機関と連携し、本人が望む生活、就労、余暇などを送れるよう、必要に応じて本人を含めたカンファレンスを行う。	4	一般就労をしている軽度の利用者の日々の思いや悩みなどを伝えやすい環境作りや職員、世話人との関わりを強化した。
運営体制の強化	ホームの利用者増に伴う専従職員配置増により、生活支援員、世話人業務の確立を行い、支援体制や運営体制を強化する。	4	GH専従職員を配置したことにより、利用者の把握、健康面、余暇の充実、日常の観察、週末の対応などを計画的に対応することが可能になった。
成年後見制度利用促進と権利擁護意識の向上	KWネットを活用し、利用者対応等を振り返る。また、成年後見制度利用啓発の為、ご家族関係者に重要性を説明する。	4	金銭管理など権利擁護意識向上に向け、あんしんセンターの利用や後見人制度の利用促進を本人、ご家族、各関係機関に啓発し、利用に至った。
専門的知識の習得とマネジメント力の向上	世話人を対象に、利用者の障害特性を学習するなど、世話人向けの勉強会を会議等で企画・実施する。	4	毎月の各ホームの世話人会議において、日々の業務や、利用者対応の検討、観察の視点、コミュニケーションの重要性などを共有し、連携強化をはかった。
利用しやすい地域サービスの実現	空所部屋を利用し、緊急一時保護や体験利用の受入を積極的に行い、今後のホームでの生活支援を本人と一緒に組み立てていく。	4	相談機関、各行政などと連携し、見学や体験利用を可能な限り受入れた。年間延べ10名、54日受入れ、うち、3名が契約に至った。
あらたな地域拠点拡充に向けた準備	新たなグループホーム拠点を軸に地域と密着し、暮らしやすい生活環境作りを実現する。	4	GH専従職員を中心に、利用者個々の余暇支援、通院同行支援、各関係機関と連携強化など、地域で暮らしやすい生活と自立した生活へ結び付けられるよう支援した。
地域貢献事業の検討	やまさきホームを中心にホーム事業の運営安定化をはかり、今後の展開につなげる。	4	GH専従職員を中心に、支援の対応強化をはかり、利用者増へと繋げ、新たなGH拠点の拡充に繋げた。
教育機関及び地域との連携強化	教育機関、養護学校の体験実習や地域のボランティアなどと連携し、積極的な受入れを行う	4	地域自治会や福祉会を通じて、イベント等に参加し、模擬店出店の手伝い等に関わる事ができた。また、近隣住民等との挨拶や会話を心掛け、GHの存在を深めた。

平成29年 事業報告

